



日本大学藤沢高等学校

NIHON UNIVERSITY Fujisawa Senior High School

— 第2学年 —

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	高校2年1～8組 (文系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社)	『進研模試過去問題集 2年生 国語』(ラーンズ), 『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』(いっぴな書店), 『新版 日本文学史必携』(第一学習社), 『増補改訂版 生きる現代文キーワード』(駿台文庫), 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版), 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500 改訂版』(いっぴな書店)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へと発展する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書けている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書けている。	教材をきちんと読んでいる。また、文章の文体を味わうことができている。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語彙を増やし、知見を自分のものとできている。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	基礎学力到達度テスト模擬問題集を用いた、問題演習を行う。 ・基本的な解法と知識を強化する。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論『『自明性の罭』からの解放』(見田宗介) 評論「手の変幻」(清岡卓行) 問題演習	・評論の基本的な読み方を習得する。 ・「時間」をめぐる具体例と、結論部分の抽象的な記述との関係を理解する。 ・『『自明性』の檻』の外部に出ることの意義について、考えを深める。 ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。 ・筆者の考えを参考にして、人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて考えを深める。 『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	6	小説「山月記」(中島敦) 評論『『私』中心の日本語』	・小説の基本的な読み方を習得する。 ・すぐれた短編小説の持つ緻密な構成や文体を読み味わう。 ・小説を自己の問題に引きつけながら読む姿勢を養う。 ・主人公の性格や生き方を鏡として、自分の中にあるかもしれない「虎」について振り返り、思索を深める。 ・評論の基本的な読み方を習得する。	

		(森田良行) 実力テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が指摘する日本語表現の特性を正しく読み取る。 ・日本人は自己を取り巻く周囲の人々をどのように捉えているのか、自分に引きつけて理解する。 『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	7	問題演習	『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
2	9	評論「消費社会とは何か」(國分功一郎) 詩「永訣の朝」(宮沢賢治)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・逆説的な結論に至るまでの論の展開を正確に把握する。 ・筆者が指摘する消費社会の問題点を、自分の経験と結びつけて理解する。 ・旧かなづかいの詩を読み味わう。 ・詩にこめられた作者の思いについて理解を深める。 ・宮沢賢治の作品や生き方について、関心を持つ。 	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	10	問題演習 小説「こころ」(夏目漱石)	『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方に習熟する。 ・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。 ・小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。 ・主人公の心情を自分に引きつけて理解する。 	
	11	実力テスト対策	『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	12	問題演習	『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
3	1	実力テスト対策 評論「動的平衡」(福岡伸一)	『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・筆者の言う「動的平衡」という概念を理解する。 ・バイオテクノロジーの利用とその問題について考えを深める。 	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「『グローバル化』の中の異文化理解」(住原則也)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・グローバル化の背景にある、経済、社会、技術の変化について理解する。 ・グローバル化が「共通化、普遍化」と「個別化」という二面性を持つことを理解する。 	
	3	問題演習	『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	高校2年15組 (文系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社)	『進研模試過去問題集 2年生 国語』(ランズ), 『リテラ現代文3』(文英堂), 『新版 日本文学史必携』(第一学習社), 『増補改訂版 生きる現代文キーワード』(駿台文庫), 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版), 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500 改訂版』(いっぴぐな書店)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へと発展する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書けている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書けている。	教材をきちんと読んでいる。また、文章の文体を味わうことができている。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語彙を増やし、知見を自分のものとできている。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	基礎学力到達度テスト模擬問題集を用いた、問題演習を行う。 ・基本的な解法と知識を強化する。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論『『自明性の罨』からの解放』(見田宗介) 評論「手の変幻」(清岡卓行) 問題演習	・評論の基本的な読み方を習得する。 ・「時間」をめぐる具体例と、結論部分の抽象的な記述との関係を理解する。 ・『『自明性』の檻』の外部に出ることの意義について、考えを深める。 ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。 ・筆者の考えを参考にして、人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて考えを深める。 『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	6	小説「山月記」(中島敦) 評論『『私』中心の日本語』	・小説の基本的な読み方を習得する。 ・すぐれた短編小説の持つ緻密な構成や文体を読み味わう。 ・小説を自己の問題に引きつけながら読む姿勢を養う。 ・主人公の性格や生き方を鏡として、自分の中にあるかもしれない「虎」について振り返り、思索を深める。 ・評論の基本的な読み方を習得する。	

		(森田良行) 実力テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が指摘する日本語表現の特性を正しく読み取る。 ・日本人は自己を取り巻く周囲の人々をどのように捉えているのか、自分に引きつけて理解する。 『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	7	問題演習	『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
2	9	評論「消費社会とは何か」(國分功一郎) 詩「永訣の朝」(宮沢賢治)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・逆説的な結論に至るまでの論の展開を正確に把握する。 ・筆者が指摘する消費社会の問題点を、自分の経験と結びつけて理解する。 ・旧かなづかいの詩を読み味わう。 ・詩にこめられた作者の思いについて理解を深める。 ・宮沢賢治の作品や生き方について、関心を持つ。 	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	10	問題演習 小説「こころ」(夏目漱石)	『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方に習熟する。 ・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。 ・小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。 ・主人公の心情を自分に引きつけて理解する。 	
	11	実力テスト対策	『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	12	問題演習	『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
3	1	実力テスト対策 評論「動的平衡」(福岡伸一)	『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・筆者の言う「動的平衡」という概念を理解する。 ・バイオテクノロジーの利用とその問題について考えを深める。 	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「『グローバル化』の中の異文化理解」(住原則也)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・グローバル化の背景にある、経済、社会、技術の変化について理解する。 ・グローバル化が「共通化、普遍化」と「個別化」という二面性を持つことを理解する。 	
	3	問題演習	『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	3	高校2年9～14組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社)	『進研模試過去問題集 2年生 国語』(ラーンズ), 『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』(いっぴな書店), 『新版 日本文学史必携』(第一学習社), 『増補改訂版 生きる現代文キーワード』(駿台文庫), 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版), 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500 改訂版』(いっぴな書店)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へと発展する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書けている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書けている。	教材をきちんと読んでいる。また、文章の文体を味わうことができている。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語彙を増やし、知見を自分のものとできている。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	基礎学力到達度テスト模擬問題集を用いた、問題演習を行う。 ・基本的な解法と知識を強化する。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論『『自明性の罭』からの解放』(見田宗介)	・評論の基本的な読み方を習得する。 ・「時間」をめぐる具体例と、結論部分の抽象的な記述との関係を理解する。 ・『『自明性』の檻』の外部に出ることの意義について、考えを深める。	
		評論「手の変幻」(清岡卓行) 問題演習	・評論の基本的な読み方を習得する。 ・着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。 ・筆者の考えを参考にして、人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて考えを深める。 『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
6	小説「山月記」(中島敦) 評論『『私』中心の日本語』	・小説の基本的な読み方を習得する。 ・すぐれた短編小説の持つ緻密な構成や文体を読み味わう。 ・小説を自己の問題に引きつけながら読む姿勢を養う。 ・主人公の性格や生き方を鏡として、自分の中にあるかもしれない「虎」について振り返り、思索を深める。 ・評論の基本的な読み方を習得する。		

		(森田良行) 実力テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が指摘する日本語表現の特性を正しく読み取る。 ・日本人は自己を取り巻く周囲の人々をどのように捉えているのか、自分に引きつけて理解する。 『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	7	問題演習	『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
2	9	評論「消費社会とは何か」(國分功一郎) 詩「永訣の朝」(宮沢賢治)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・逆説的な結論に至るまでの論の展開を正確に把握する。 ・筆者が指摘する消費社会の問題点を、自分の経験と結びつけて理解する。 ・旧かなづかいの詩を読み味わう。 ・詩にこめられた作者の思いについて理解を深める。 ・宮沢賢治の作品や生き方について、関心を持つ。 	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	10	問題演習 小説「こころ」(夏目漱石)	『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方に習熟する。 ・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。 ・小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。 ・主人公の心情を自分に引きつけて理解する。 	
	11	実力テスト対策	『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	12	問題演習	『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
3	1	実力テスト対策 評論「動的平衡」(福岡伸一)	『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・筆者の言う「動的平衡」という概念を理解する。 ・バイオテクノロジーの利用とその問題について考えを深める。 	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「『グローバル化』の中の異文化理解」(住原則也)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・グローバル化の背景にある、経済、社会、技術の変化について理解する。 ・グローバル化が「共通化、普遍化」と「個別化」という二面性を持つことを理解する。 	
	3	問題演習	『三訂版 よむナビ現代文2 必修編』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	高校2年17組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社)	『進研模試過去問題集 2年生 国語』(ランズ), 『リテラ現代文3』(文英堂), 『新版 日本文学史必携』(第一学習社), 『増補改訂版 生きる現代文キーワード』(駿台文庫), 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版), 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500 改訂版』(いっぴぐな書店)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へと発展する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書けている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書けている。	教材をきちんと読んでいる。また、文章の文体を味わうことができている。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語彙を増やし、知見を自分のものとできている。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	基礎学力到達度テスト模擬問題集を用いた、問題演習を行う。 ・基本的な解法と知識を強化する。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論『『自明性の罭』からの解放』(見田宗介) 評論「手の変幻」(清岡卓行) 問題演習	・評論の基本的な読み方を習得する。 ・「時間」をめぐる具体例と、結論部分の抽象的な記述との関係を理解する。 ・『『自明性』の檻』の外部に出ることの意義について、考えを深める。 ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。 ・筆者の考えを参考にして、人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて考えを深める。 『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	6	小説「山月記」(中島敦) 評論『『私』中心の日本語』	・小説の基本的な読み方を習得する。 ・すぐれた短編小説の持つ緻密な構成や文体を読み味わう。 ・小説を自己の問題に引きつけながら読む姿勢を養う。 ・主人公の性格や生き方を鏡として、自分の中にあるかもしれない「虎」について振り返り、思索を深める。 ・評論の基本的な読み方を習得する。	

		(森田良行) 実力テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が指摘する日本語表現の特性を正しく読み取る。 ・日本人は自己を取り巻く周囲の人々をどのように捉えているのか、自分に引きつけて理解する。 『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	7	問題演習	『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
2	9	評論「消費社会とは何か」(國分功一郎) 詩「永訣の朝」(宮沢賢治)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・逆説的な結論に至るまでの論の展開を正確に把握する。 ・筆者が指摘する消費社会の問題点を、自分の経験と結びつけて理解する。 ・旧かなづかいの詩を読み味わう。 ・詩にこめられた作者の思いについて理解を深める。 ・宮沢賢治の作品や生き方について、関心を持つ。 	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	10	問題演習 小説「こころ」(夏目漱石)	『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方に習熟する。 ・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。 ・小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。 ・主人公の心情を自分に引きつけて理解する。 	
	11	実力テスト対策	『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
	12	問題演習	『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	
3	1	実力テスト対策 評論「動的平衡」(福岡伸一)	『進研模試過去問題集 2年生 国語』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・筆者の言う「動的平衡」という概念を理解する。 ・バイオテクノロジーの利用とその問題について考えを深める。 	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	評論「『グローバル化』の中の異文化理解」(住原則也)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・グローバル化の背景にある、経済、社会、技術の変化について理解する。 ・グローバル化が「共通化、普遍化」と「個別化」という二面性を持つことを理解する。 	
	3	問題演習	『リテラ現代文3』を用いて演習を行い、読解の解法と知識を強化する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	4	高校2年1～8組 (文系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『古典B 改訂版』(大修館書店)	『新精選古典文法・改訂版』(東京書籍), 『新精選古典文法準拠ノート』(東京書籍), 『新明説漢文』(尚文出版),『新明説漢文ノート』(尚文出版), 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版), 『シンプルスタイルシリーズ古文単語301』(尚文出版), 『古典の演習1』(啓隆社),『錬成古典』(尚文出版), 『進研模試過去問題集 2年生 国語』(ラーズ)

1. 学習の目標

古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書けている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書けている。	教材をきちんと読んで的確な読解ができていいる。また、文章の文体を味わうことができていいる。さらに、様々な文化に対する関心を深めていいる。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高2対策用模擬テスト①～④	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方など。基礎学力到達度テスト対策として、模擬テストを解き問題に慣れる。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	古文 説話 『十訓抄』大江山いくのの道 漢文「故事成語」 漱石枕流・塞翁馬 問題演習	和歌を軸に、登場人物の言動や心情を読み取る。1年次に学習した文法を復習する。 漢文訓読に習熟する。故事成語の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。再読文字・疑問・受身などの句法について学習する。	
	6	古文 随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 『方丈記』ゆく河の流れ 漢文 『史記』四面楚歌	登場人物に注意し、主語を確認して読解する。敬語について理解する。平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。作者のものの見方、感じ方、考え方および無常観について理解する。 漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。基本的な句法について学習する。	
	7	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
2	9	古文 歴史物語 『大鏡』競べ弓	『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考え	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物

		漢文 漢詩 「竹里館」・「碩中作」「登高」	る。 敬語の意味と用法について復習し、理解を深める。 近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。	
	10	古文 日記 『更級日記』源氏の五十余巻	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や呼応の副詞・助動詞の用法などを理解する。物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。	
	11	古文 俳諧 『芭蕉・蕪村・一茶』	近世の俳諧について、その成り立ち等の文学史的なことを理解する。 芭蕉・蕪村・一茶の作品を、その個性を理解し、味わう。	
	12	漢文 小説 『定伯売鬼』	物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞する。 疑問・限定・使役など既習の句法について理解を深める。	
3	1	古文 物語 『源氏物語』桐壺・若紫	それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	漢文 『桃花源記』	長文の散文教材を学習し、読解・鑑賞する能力を養う。	
	3	問題演習	問題集を用いて、演習を行う。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	4	高校2年15組 (文系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『古典B 改訂版』(大修館書店)	『新精選古典文法・改訂版』(東京書籍), 『新精選古典文法準拠ノート』(東京書籍), 『新明説漢文』(尚文出版),『新明説漢文ノート』(尚文出版), 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版), 『シンプルスタイルシリーズ古文単語301』(尚文出版), 『古典の演習1』(啓隆社),『錬成古典』(尚文出版), 『進研模試過去問題集 2年生 国語』(ランズ)

1. 学習の目標

古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書いている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書いている。	教材をきちんと読んでいる。的確に読解している。また、文章の文体を味わっている。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高2対策用模擬テスト①～④	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方など。基礎学力到達度テスト対策として、模擬テストを解き問題に慣れる。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	古文 説話 『十訓抄』大江山いくのの道 漢文「故事成語」 漱石枕流・塞翁馬 問題演習	和歌を軸に、登場人物の言動や心情を読み取る。1年次に学習した文法を復習する。 漢文訓読に習熟する。故事成語の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。再読文字・疑問・受身などの句法について学習する。	
	6	古文 随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 『方丈記』ゆく河の流れ 漢文 『史記』四面楚歌	登場人物に注意し、主語を確認して読解する。敬語について理解する。平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。作者のものの見方、感じ方、考え方および無常観について理解する。 漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。基本的な句法について学習する。	
	7	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
2	9	古文 歴史物語 『大鏡』競べ弓	『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考え	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物

		漢文 漢詩 「竹里館」・「碩中作」「登高」	る。 敬語の意味と用法について復習し、理解を深める。 近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。	
	10	古文 日記 『更級日記』源氏の五十余巻	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や呼応の副詞・助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。	
	11	古文 俳諧 『芭蕉・蕪村・一茶』	近世の俳諧について、その成り立ち等の文学史的なことを理解する。 芭蕉・蕪村・一茶の作品を、その個性を理解し、味わう。	
	12	漢文 小説 『定伯売鬼』	物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞する。 疑問・限定・使役など既習の句法について理解を深める。	
3	1	古文 物語 『源氏物語』桐壺・若紫	それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	漢文 『桃花源記』	長文の散文教材を学習し、読解・鑑賞する能力を養う。	
	3	問題演習	問題集を用いて、演習を行う。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	2	高校2年9～14組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『古典B 改訂版』(大修館書店)	『新精選古典文法・改訂版』(東京書籍), 『新精選古典文法準拠ノート』(東京書籍), 『新明説漢文』(尚文出版), 『新明説漢文ノート』(尚文出版), 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版), 『シンプルスタイルシリーズ古文単語301』(尚文出版), 『古典の演習1』(啓隆社), 『錬成古典』(尚文出版), 『進研模試過去問題集 2年生 国語』(ランズ)

1. 学習の目標

古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書けている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書けている。	教材をきちんと読んで的確な読解ができている。また、文章の文体を味わうことができていいる。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高2対策用模擬テスト①～④	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方など。基礎学力到達度テスト対策として、模擬テストを解き問題に慣れる。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	古文 説話 『宇治拾遺物語』 検非違使忠明のこと 漢文「故事成語」 漱石枕流・塞翁馬 問題演習	登場人物の言動や心情を読み取る。 1年次に学習した文法を復習する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。 再読文字・疑問・受身などの句法について学習する。	
	6	古文 随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 漢文 『史記』四面楚歌	登場人物に注意し、主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 基本的な句法について学習する。	
	7	問題演習	問題集を用いて演習を行う。	
2	9	古文 歴史物語 『大鏡』競べ弓	『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し、理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物

		漢文 漢詩 「竹里館」「登高」	近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。	
	10	古文 日記 『更級日記』源氏の五十余巻	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や呼応の副詞・助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。	
	11	古文 俳諧 『芭蕉・蕪村・一茶』	近世の俳諧について、その成り立ち等の文学史的なことを理解する。 芭蕉・蕪村・一茶の作品を、その個性を理解し、味わう。	
	12	漢文 小説 『定伯売鬼』	物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞する。 疑問・限定・使役など既習の句法について理解を深める。	
3	1	古文 物語 『源氏物語』若紫	登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	漢文 『桃花源記』	長文の散文教材を学習し、読解・鑑賞する能力を養う。	
	3	問題演習	問題集を用いて、演習を行う。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	3	高校2年17組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『古典B 改訂版』(大修館書店)	『新精選古典文法・改訂版』(東京書籍), 『新精選古典文法準拠ノート』(東京書籍), 『新明説漢文』(尚文出版), 『新明説漢文ノート』(尚文出版), 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版), 『シンプルスタイルシリーズ古文単語301』(尚文出版), 『古典の演習1』(啓隆社), 『プログレス古典総演習・発展編』(いっずな書店), 『進研模試過去問題集 2年生 国語』(ラーズ)

1. 学習の目標

古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書けている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書けている。	教材をきちんと読んで的確な読解ができていいる。また、文章の文体を味わうことができていいる。さらに、様々な文化に対する関心を深めていいる。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト高2対策用模擬テスト①～④	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方など。 基礎学力到達度テスト対策として、模擬テストを解き問題に慣れる。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	古文 説話 『宇治拾遺物語』 検非違使忠明のこと 漢文「故事成語」 漱石枕流・塞翁馬 問題演習	登場人物の言動や心情を読み取る。 1年次に学習した文法を復習する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。 再読文字・疑問・受身などの句法について学習する。 入試問題演習。	
	6	古文 随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 漢文 『史記』四面楚歌	登場人物に注意し、主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 基本的な句法について学習する。	
	7	問題演習	問題集を用いて問題演習を行う。	
2	9	古文 歴史物語 『大鏡』競べ弓	『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事	授業への取り組み 小テスト 定期試験

		漢文 漢詩 「竹里館」「登高」	件について、作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し、理解を深める。 近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。	提出物
	10	古文 日記 『更級日記』源氏の五十余巻	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や呼応の副詞・助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。	
	11	古文 俳諧 『芭蕉・蕪村・一茶』	近世の俳諧について、その成り立ち等の文学史的なことを理解する。 芭蕉・蕪村・一茶の作品を、その個性を理解し、味わう。	
	12	漢文 小説 『定伯売鬼』	物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞する。 疑問・限定・使役など既習の句法について理解を深める。	
3	1	古文 物語 『源氏物語』若紫	登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	漢文 『桃花源記』	長文の散文教材を学習し、読解・鑑賞する能力を養う。	
	3	問題演習	問題集を用いて、演習を行う。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語特講 I	3	高校2年 16組 (理系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社) 『精選古典B』(大修館)	『進研模試過去問題集 2年生 国語』(ラーズ), 『新版 日本文学史必携』(第一学習社), 『増補改訂版 生きる現代文キーワード』(駿台文庫), 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版), 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500 改訂版』(いっずな書店), 『新精選古典文法・改訂版』(東京書籍), 『新精選古典文法準拠ノート』(東京書籍), 『新明説漢文』(尚文出版),『新明説漢文ノート』(尚文出版), 『シンプルスタイルシリーズ古文単語 301』(尚文出版), 『古典の演習1』(啓隆社), 『ここからはじめる大学入試共通テスト国語問題 プレ演習』(いっずな書店)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へと発展する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたりわかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書けている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書けている。	教材をきちんと読んでいる。確かな読解ができている。また、文章の文体を味わうことができている。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	基礎学力到達度テスト模擬問題集を用いた、問題演習を行う。 ・基本的な解法と知識を強化する。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「手の変幻」(清岡卓行) 古文 随筆『徒然草』名を聞くより 漢文 故事成語『知音』	・評論の基本的な読み方を習得する。 ・着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。 ・筆者の考えを参考にして、人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて考えを深める。 ・古典文法の復習。 ・随筆を味わい、作者の考え方を理解する。 ・故事成語の成り立ちと意味を理解する。 ・基本的な句法の復習。	
	6	小説「山月記」(中島敦)	・小説の基本的な読み方を習得する。 ・すぐれた短編小説の持つ緻密な構成や文体を読み味わう。 ・小説を自己の問題に引きつけながら読む姿勢を養う。 ・主人公の性格や生き方を鏡として、自分の中にあるかもしれない「虎」について振り返り、思索を深める。	

		古文 歌物語『伊勢物語』月やあらぬ	・物語の主人公の心情と、和歌を重ね合わせて味わう。	
	7	漢文 問題演習	・問題演習で、基本的な句法を学習する。	
2	9	評論「消費社会とは何か」(國分功一郎)	・評論の読み方に習熟する。 ・逆説的な結論に至るまでの論の展開を正確に把握する。 ・筆者が指摘する消費社会の問題点を、自分の経験と結びつけて理解する。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	10	古文 随筆『枕草子』九月ばかり	・随筆に描かれた情景を味わう。 ・古典文法の復習。	
		漢文 『史記』沛公見項王	・歴史の面白さを味わう。 ・基本的な句法の復習。	
		小説「こころ」(夏目漱石)	・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。 ・小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。 ・主人公の心情を自分に引きつけて理解する。	
11	古文 日記『更級日記』あこがれ	・平安時代の日記文学について知識を深める。 ・日記に描かれた作者の心情を読み取る。		
		漢文 唐詩『月夜』	・近体詩についての知識の確認。 ・詩に描かれた作者の心情を読み取る。	
	12	問題演習	・入試問題演習。	
3	1	評論「動的平衡」(福岡伸一)	・評論の読み方に習熟する。 ・筆者の言う「動的平衡」という概念を理解する。 ・バイオテクノロジーの利用とその問題について考えを深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	2	古文 『源氏物語』桐壺	・登場人物の関係や、心情について理解する。 ・敬語についての確認。	
	3	漢文 問題演習	・入試問題演習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	世界史B	5	高校2年2,3組 (総合進学クラス), 高校2年15組 (文系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『詳説 世界史B 改訂版』(山川出版社)	『ニューステージ世界史詳覧』(浜島書店), 『世界史用語集 改訂版』(山川出版社), 『山川 一問一答世界史 第3版』(山川出版社)

1. 学習の目標

古代から近現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 2 北方民族の活動と中国分裂 3 東アジア文化圏の形成 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 2 東アジア諸地域の自立	・遊牧民の定住と漢人との融合、遊牧国家突厥の成立などを背景に、隋・唐帝国が成立したことを把握し、理解する。 ・唐が、支配体制を整え、周辺諸国との間に安定した関係を結び、東アジア世界を形成したこと、日本や新羅・渤海が唐の政治制度や文化を取り入れ国家形成を進めたことを把握し、理解する。 ・東アジアから中国東北部、華北一帯では、契丹・女真が台頭し、宋と対抗しつつ交易を行ったこと、また宋では、産業や文化の発達、商業都市の繁栄が見られたことを把握し、理解する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	5	3 モンゴルの大帝国 一学期中間試験 第4章 イスラムの広がりや西アジア世界の展開 1 イスラム帝国の成立 3 イト・東南アジア・アフリカのイスラム化 4 イスラム文明の発展	・モンゴルが広大な地域を支配するようになった過程と、宗主国元朝と諸国の連合体に再編されたこと、元朝がユーラシアを陸と海で循環する交通・交易体制を作り上げ、第1次大交易時代が到来したことを把握し、理解する。 ・アラブ人の征服活動とイスラム帝国の成立について把握し、基本的知識を理解する。 ・アッバース朝の衰退後も、イスラム世界の一体性は維持されたこと、またムスリム商人と神秘主義教団が各地のイスラム化に重要な役割を果たしたことを把握し、基本的知識を理解する。 ・イスラム文明が融合文明であり、自然科学・哲学などの分野で高度に発展し、ルネサンスの一因となり、また中国にも影響を与えたことを把握し、基本的知識を理解する。	
	6	第7章 アジア諸地域の繁栄 3 トロコ・イン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1 西ヨーロッパ世界の成立	・西アジアや南アジアでは、イスラムの帝国が海上に交易圏を形成して栄えたことや、強大な皇帝権と官僚制を発達させる一方で、非ムスリムに対して柔軟な統治を行ったことを理解する。 ・フランク王国がローマ教皇と提携して勢力を拡大し、ビザンツ帝国に対しラテンカトリック圏をまとめたこと、ルマン人などの諸民族の侵入や建国が進むなかで、封建社会が形成されたことを把握し、基本的知識を理解する。	
	7	承前 一学期期末試験		

2	9	2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の 変容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国で次第にギリシア化が進んだこと、コンスタンティノブルがギリシア正教圏と地中海商業圏の中心地として繁栄したことを把握し、基本的知識を理解する。 ・東ヨーロッパ各地にスラブ人が国家を建設し、多様な東ヨーロッパ世界を形成したことを理解する。 ・西ヨーロッパでは、封建社会が変容し、ヨーロッパ拡大の動きが生まれたことを把握し、理解を深める。 	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	10	4 西ヨーロッパの中世文化 二学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・中世を通じたキリスト教の役割など、イスラム文明がヨーロッパ文明に与えた影響を把握し、基本的知識を理解する。 	
	11	第8章 近世ヨーロッパ世界の 形成 1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と 主権国家体制の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・西ヨーロッパではルネサンスと宗教改革、新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され、アメリカではヨーロッパ人による征服と入植・開発が先住民社会の変質を余儀なくしたこと、また第2次大交易時代で沸き返るアジア貿易への参入やメキシコ銀の流入がヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを理解する。 	
	12	承前 二学期期末試験		
3	1	第7章 アジア諸地域の繁栄 1 東アジアの動向 2 清代の中国と隣接諸 地域 第9章 近世ヨーロッパ世界の 展開 1 重商主義と啓蒙専制 主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進 出 3 17～18世紀ヨーロッパの 文化と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアでは、明がモンゴルや倭寇の活動に苦しみながらも商工業を発達させたが、中華秩序の動揺は、東アジアに緊張と再編をもたらしたことを理解する。 ・16世紀後半から17世紀の日本が銀を中国に輸出したことや、鎖国後も外の世界とつながっていたことを理解する。 ・西ヨーロッパ諸国の重商主義に基づく経済活動と植民地争奪戦の結果、東ヨーロッパでは農場領主制が成立し、アメリカでは奴隷労働によるプランテーションが拡大し、大西洋に三角貿易が発達するなど、国際分業体制が形成されたことを理解する。 ・合理主義・科学革命・国際法やバロック・ロココの芸術などの、ヨーロッパの新しい文化の動向とそれを生み出した社会的状況を理解する。 	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	2	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世 界の成立 1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とナポレオン	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス産業革命の世界的背景や展開、産業資本主義の確立、自由主義的風潮の広まりや社会主義思想の誕生について理解する。 ・アメリカ独立革命やフランス革命などの結果、市民社会が成立し、さらには国民国家の形成が促されたことを理解する。 ・イギリス産業革命の世界的背景や展開、産業資本主義の確立、自由主義的風潮の広まりや社会主義思想の誕生について理解する。 ・アメリカ独立革命やフランス革命などの結果、市民社会が成立し、さらには国民国家の形成が促されたことを理解する。 	
	3	承前 学年末試験		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	世界史B	3	高校2年17組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『詳説 世界史B 改訂版』(山川出版社)	『ニューステージ世界史詳覧』(浜島書店), 『世界史用語集 改訂版』(山川出版社), 『山川 一問一答世界史 第3版』(山川出版社)

1. 学習の目標

古代から近現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 2 北方民族の活動と中国分裂 3 東アジア文化圏の形成 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 2 東アジア諸地域の自立	<ul style="list-style-type: none"> 遊牧民の定住と漢人との融合、遊牧国家突厥の成立などを背景に、隋・唐帝国が成立したことを把握し、理解する。 唐が、支配体制を整え、周辺諸国との間に安定した関係を結び、東アジア世界を形成したこと、日本や新羅・渤海が唐の政治制度や文化を取り入れ国家形成を進めたことを把握し、理解する。 東アジアから中国東北部、華北一帯では、契丹・女真が台頭し、宋と対抗しつつ交易を行ったこと、また宋では、産業や文化の発達、商業都市の繁栄が見られたことを把握し、理解する。 	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	5	3 モンゴルの大帝国 一学期中間試験 第4章 イスラムの広がり West Asia世界の展開 1 イスラム帝国の成立 3 イト・東南アジア・アフリカのイスラム化 4 イスラム文明の発展	<ul style="list-style-type: none"> モンゴルが広大な地域を支配するようになった過程と、宗主国元朝と諸国の連合体に再編されたこと、元朝がユーラシアを陸と海で循環する交通・交易体制を作り上げ、第1次大交易時代が到来したことを把握し、理解する。 アラブ人の征服活動とイスラム帝国の成立について把握し、基本的知識を理解する。 アッバース朝の衰退後も、イスラム世界の一体性は維持されたこと、またムスリム商人と神秘主義教団が各地のイスラム化に重要な役割を果たしたことを把握し、基本的知識を理解する。 イスラム文明が融合文明であり、自然科学・哲学などの分野で高度に発展し、ルネサンスの一因となり、また中国にも影響を与えたことを把握し、基本的知識を理解する。 	
	6	第7章 アジア諸地域の繁栄 3 トロ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	<ul style="list-style-type: none"> 西アジアや南アジアでは、イスラムの帝国が海上に交易圏を形成して栄えたことや、強大な皇帝権と官僚制を発達させる一方で、非ムスリムに対して柔軟な統治を行ったことを理解する。 	

		第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1 西ヨーロッパ世界の成立	・フランク王国がローマ教皇と提携して勢力を拡大し、ビザンツ帝国に対しラテンカトリック圏をまとめたこと、ルマン人などの諸民族の侵入や建国が進むなかで、封建社会が形成されたことを把握し、基本的知識を理解する。	
	7	承前 一学期期末試験		
2	9	2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の 変容	・ビザンツ帝国で次第にギリシア化が進んだこと、コンスタンティノープルがギリシア正教圏と地中海商業圏の中心地として繁栄したことを把握し、基本的知識を理解する。 ・東ヨーロッパ各地にスラブ人が国家を建設し、多様な東ヨーロッパ世界を形成したことを理解する。 ・西ヨーロッパでは、封建社会が変容し、ヨーロッパ拡大の動きが生まれたことを把握し、理解を深める。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	10	4 西ヨーロッパの中世文化 二学期期末試験	・中世を通じたキリスト教の役割など、イスラム文明がヨーロッパ文明に与えた影響を把握し、基本的知識を理解する。	
	11	第8章 近世ヨーロッパ世界の 形成 1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と 主権国家体制の形成	・西ヨーロッパではルネサンスと宗教改革、新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され、アメリカではヨーロッパ人による征服と入植・開発が先住民社会の変質を余儀なくしたこと、また第2次大交易時代で沸き返るアジア貿易への参入やキリスト教の流入がヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを理解する。	
	12	承前 二学期期末試験		
3	1	第7章 アジア諸地域の繁栄 1 東アジアの動向 2 清代の中国と隣接諸 地域 第9章 近世ヨーロッパ世界の 展開 1 重商主義と啓蒙専制 主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進 出 3 17～18世紀ヨーロッパの 文化と社会	・東アジアでは、明がモンゴルや倭寇の活動に苦しみながらも商工業を発達させたが、中華秩序の動揺は、東アジアに緊張と再編をもたらしたことを理解する。 ・16世紀後半から17世紀の日本が銀を中国に輸出したことや、鎖国後も外の世界とつながっていたことを理解する。 ・西ヨーロッパ諸国の重商主義に基づく経済活動と植民地争奪戦の結果、東ヨーロッパでは農場領主制が成立し、アメリカでは奴隷労働によるプランテーションが拡大し、大西洋に三角貿易が発達するなど、国際分業体制が形成されたことを理解する。 ・合理主義・科学革命・国際法やバロック・ロココの芸術などの、ヨーロッパの新しい文化の動向とそれを生み出した社会的状況を理解する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	2	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世 界の成立 1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とボナパルト	・イギリス産業革命の世界的背景や展開、産業資本主義の確立、自由主義的風潮の広まりや社会主義思想の誕生について理解する。 ・アメリカ独立革命やフランス革命などの結果、市民社会が成立し、さらには国民国家の形成が促されたことを理解する。 ・イギリス産業革命の世界的背景や展開、産業資本主義の確立、自由主義的風潮の広まりや社会主義思想の誕生について理解する。 ・アメリカ独立革命やフランス革命などの結果、市民社会が成立し、さらには国民国家の形成が促されたことを理解する。	
	3	承前 学年末試験		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	日本史B	5	高校2年1～8組・15組

使用教科書	副教材
『改訂版 詳説日本史B』(山川出版社)	『最新日本史図表 三訂版』(第一学習社), 『改訂版 詳録 新日本史史料集成』(第一学習社), 『山川 一問一答 日本史 第3版』(山川出版社)

1. 学習の目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立つて総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養う。

2. 評価内容

1, 関心・意欲・態度	2, 考え方・判断	3, 技能・表現	4, 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章 日本文化のあけぼの 1, 文化の始まり 2, 農耕社会の成立 3, 古墳とヤマト政権	・更新世の時代に旧石器文化が営まれ、完新世に入って縄文・弥生文化が展開する。その間におきた農耕の開始やそれに伴う国家形成の動きを捉え、4～5世紀の古墳時代にヤマト政権が連合政権を確立していた様子を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	第2章 律令国家の形成 1, 飛鳥の朝廷 2, 律令国家への道 3, 平城京の時代 4, 天平文化	・7世紀、律令国家建設の歩みが本格的に進められ、平城京の時代に古代国家を現出し、天平文化が開花する過程を理解する。	
	6	5, 平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1, 摂関政治	・8世紀末、平安京遷都などの律令再建の動きを、歴史的背景をもとに考察する。 ・律令体制が動揺する一方で、土地制度面では農民の成長が見られ、荘園・公領体制に切り替わり、政治面では摂関政治から武士の台頭が目立ち、私権化の方向に進んでいく。文化面では貴族政治の下で国風文化が開花するなど日本独自の社会発展が進む中、古代から中世への過渡期を捉える。	
	7	2, 国風文化	・国風文化の成立した過程と特色を理解する。	
2	9	3, 地方政治の展開と武士	・11世紀末、院政に続く源平争乱を戦い抜いた源頼朝が鎌倉幕府を開き、源氏将軍3代の後、北条氏の執権政治・得宗専制政治が展開する様子を理解する。	

10	第4章 中世社会の成立 1, 院政と平氏の台頭 2, 鎌倉幕府の成立 3, 武士の社会	・鎌倉時代初期の公武二元支配の様子と、承久の乱を契機に武家勢力が公家勢力を圧倒する様子を捉えるとともに、文化面でも公武二元性が見られたことに気付く。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験	
	11	4, 蒙古襲来と幕府の衰退 5, 鎌倉文化		・鎌倉幕府滅亡後、建武新政という古代政権が一時復活するが、この成立と崩壊を契機として武家社会がいつその成長を見せていく様子を考える。
	12	第5章 武家社会の成長 1, 室町幕府の成立 2, 幕府の衰退と庶民の台頭 3, 室町文化		・南北朝動乱期に守護が成長し、室町幕府の将軍と対立・妥協を行ったが、その後、応仁の乱を契機に時代が戦国時代へと移行し、下剋上の風潮のもと戦国大名の激しい構想が展開された様子を理解する。
3	1	4, 戦国大名の登場 第6章 幕藩体制の確立 1, 織豊政権 2, 桃山文化	・16世紀半ばのヨーロッパ人來航を踏まえ、織豊政権が中世末期の戦国争乱を収束し、近世の出発点を開いた様子を理解する。 ・織田信長と豊臣秀吉の政策の特色を、諸史料をもとに考察し、その歴史的意義について考える。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	3, 幕藩体制の成立 4, 幕藩社会の構造	・織豊政権を引き継いだ形となった徳川氏がいわゆる幕藩体制を固め、寛永期までに幕府組織を整備し、対外的にも鎖国体制を完成させることで、日本の近世社会が成立していった様子を理解する。	
	3	第7章 幕藩体制の展開 1, 幕政の安定	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎えたことを把握する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	日本史B	3	高校2年17組

使用教科書	副教材
『改訂版 詳説日本史B』(山川出版社)	『最新日本史図表 三訂版』(第一学習社), 『改訂版 詳録 新日本史史料集成』(第一学習社), 『山川 一問一答 日本史 第3版』(山川出版社)

1. 学習の目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養う。

2. 評価内容

1, 関心・意欲・態度	2, 考え方・判断	3, 技能・表現	4, 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章 日本文化のあけぼの 1, 文化の始まり 2, 農耕社会の成立 3, 古墳とヤマト政権	・更新世の時代に旧石器文化が営まれ、完新世に入って縄文・弥生文化が展開する。その間におきた農耕の開始やそれに伴う国家形成の動きを捉え、4～5世紀の古墳時代にヤマト政権が連合政権を確立していた様子を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	第2章 律令国家の形成 1, 飛鳥の朝廷 2, 律令国家への道 3, 平城京の時代 4, 天平文化	・7世紀、律令国家建設の歩みが本格的に進められ、平城京の時代に古代国家を現出し、天平文化が開花する過程を理解する。	
	6	5, 平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1, 摂関政治	・8世紀末、平安京遷都などの律令再建の動きを、歴史的背景をもとに考察する。 ・律令体制が動揺する一方で、土地制度面では農民の成長が見られ、荘園・公領体制に切り替わり、政治面では摂関政治から武士の台頭が目立ち、私権化の方向に進んでいく。文化面では貴族政治の下で国風文化が開花するなど日本独自の社会発展が進む中、古代から中世への過渡期を捉える。	
	7	2, 国風文化	・国風文化の成立した過程と特色を理解する。	
2	9	3, 地方政治の展開と武士	・11世紀末、院政に続く源平争乱を戦い抜いた源頼朝が鎌倉幕府を開き、源氏将軍3代の後、北条氏の執権政治・徳宗専制政治が展開する様子を理解する。	

10	第4章 中世社会の成立 1, 院政と平氏の台頭 2, 鎌倉幕府の成立 3, 武士の社会	・鎌倉時代初期の公武二元支配の様子と、承久の乱を契機に武家勢力が公家勢力を圧倒する様子を捉えるとともに、文化面でも公武二元性が見られたことに気付く。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験	
	11	4, 蒙古襲来と幕府の衰退 5, 鎌倉文化		・鎌倉幕府滅亡後、建武新政という古代政権が一時復活するが、この成立と崩壊を契機として武家社会がいつその成長を見せていく様子を考える。
	12	第5章 武家社会の成長 1, 室町幕府の成立 2, 幕府の衰退と庶民の台頭 3, 室町文化		・南北朝動乱期に守護が成長し、室町幕府の将軍と対立・妥協を行ったが、その後、応仁の乱を契機に時代が戦国時代へと移行し、下剋上の風潮のもと戦国大名の激しい構想が展開された様子を理解する。
3	1	4, 戦国大名の登場 第6章 幕藩体制の確立 1, 織豊政権 2, 桃山文化	・16世紀半ばのヨーロッパ人來航を踏まえ、織豊政権が中世末期の戦国争乱を収束し、近世の出発点を開いた様子を理解する。 ・織田信長と豊臣秀吉の政策の特色を、諸史料をもとに考察し、その歴史的意義について考える。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	3, 幕藩体制の成立 4, 幕藩社会の構造	・織豊政権を引き継いだ形となった徳川氏がいわゆる幕藩体制を固め、寛永期までに幕府組織を整備し、対外的にも鎖国体制を完成させることで、日本の近世社会が成立していった様子を理解する。	
	3	第7章 幕藩体制の展開 1, 幕政の安定	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎えたことを把握する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	地理B	5	高校2年1, 7組 (文系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『新詳地理B』(帝国書院), 『新詳高等地図』(帝国書院)	『最新地理図表GEO』(第一学習社), 『データブックオブザワールド vol.34 : 2022』(二宮書店)

1. 学習の目標

系統的内容を学ぶことにより、世界の様々な地域の特徴や共通点を結びつけて理解する。系統的内容を学習した後、地誌的内容を学習することにより、現代世界の地理的認識を養うとともに、多角的な視野を培う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の特徴を学び、現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究する。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、地域性をふまえて多角的・多面的に考察するとともに、国際社会の変化について考察する。	地図や統計など地域に関する諸資料を扱い、地理的事象を追求する技能(読解力・表現方法)を身につける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄やその追究の方法を理解し、知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【村落・都市】 ・集落の形成 ・大都市圏の形成 ・都市機能の分散 ・様々な都市問題	・世界の村落・都市の成立要因・分類を学ぶ。 ・都市の機能が経済の発展とともに変化したことを学び、どのような影響を周囲に与えるか理解する。	定期試験 授業への取り組み 行動観察 提出物
	5	【開発・環境問題】 ・酸性雨 ・地球温暖化 ・オゾン層の破壊 ・砂漠化 ・熱帯林の破壊	・世界的視野からみた環境問題・エネルギー問題には、多様な地域があることを理解する。 ・環境問題とエネルギー問題との間には相互に関連の深い問題も多く、地域ごとに複雑な状況であることを認識し、解決には国際協力が必要で緊急性もあることを理解する。	
	6	【国家と領域】 ・国家の三要素 ・様々な国境 【国家群】 ・国際連合 ・ASEAN・EU・USMCAなど	・国家の成立に必要な三要素など基本的知識を踏まえ、領土問題が発生する背景とその要因について理解する。 ・国家群を世界的視野から地域性をふまえて理解するとともに、国家間の結びつきを地理的に考察する意義を学ぶ。	
	7	【人口・人口問題】 ・人口構成 ・世界の人口問題	・世界の人口分布が偏っていることを理解し、要因を自然環境や社会環境の結びつきから考察する。 ・人口問題を大きく世界的にみていくと、人口の急増と高齢化の二つに分けられることを理解し、それぞれ地域性があることを理解する。	
2	9	【人種・民族】 ・世界の人種と民族 ・言語と宗教 ・民族・領土問題	・人類集団の分類のひとつである「人種」「民族」とは何か、また現代の国家を構成する人類の多様な背景を考察する。 ・世界的視野・地域的視野から種々の民族・領土問題があることを学び、背景・現状の共通性と相違性について理解する。	定期試験 授業への取り組み 行動観察 提出物

		<p>【世界地誌】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東アジア地誌 	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、日本との密接な関係をもとに世界とのつながりを考察する。 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア地誌 南アジア地誌 西アジア地誌 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、ASEANの結成と拡大をもとに東南アジア地域の経済発展を考察する。 南アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特にインドの産業を中心に日本や世界とのつながりを考察する。 西アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、石油に依存する経済状況と問題点を考察する。 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> アフリカ地誌 	<ul style="list-style-type: none"> アフリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特にアフリカで発生している多くの政治・経済的問題の多くは、植民地分割が原因になっていることを理解する。 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ地誌 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、EUの拡大・発展が周辺地域に与える影響を考察する。 	
3	1	<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ地誌 	<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、世界に大きな影響を与える農牧業・工業の分布や成立背景について、多角的に考察する。 	定期試験 授業への取り組み 行動観察 提出物
	2	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ地誌 オセアニア地誌 	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、著しい経済発展と今後の課題について考察する。 オセアニアを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特に日本とオーストラリアの貿易を中心に太平洋諸国の現状と課題を考える。 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ロシアと周辺諸国地誌 	<ul style="list-style-type: none"> ロシアと周辺諸国を、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特にロシアの世界的地位の現状と課題を考える。 	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	現代社会	2	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『高等学校 改訂版 現代社会』(第一学習社)	『テオリア最新倫理資料集 新版四訂』(第一学習社), 『2023 大学共通テスト 倫理重要問題集』(実教出版), 『政治・経済資料2022』(とうほう), 『2023 大学入学共通テスト 政治・経済重要問題集』 (実教出版)

1. 学習の目標

人間尊重と科学的な精神に基づいて、広い視野に立って、社会と人間についての理解を先哲の考えを通じて深め、現代社会の基本的な問題点と自らのあり方生き方について主体的に考察するとともに、政治学の基本を通じて、現代社会の諸問題について考える力の基礎を養い、良識ある公民としての能力と態度を身につける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に課題に取り組んでいる。	課題を見出し、人間としてのあり方・生き方について、広い視野に立って多面的・多角的に考察している。	教科書・資料集のほか様々な資料を主体的に選択し活用して、学び方を身につけている。	人間としてのあり方生き方を、先哲の考えを学ぶことによって身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	日本の伝統的な考え方	・古代日本思想の重層性や感覚的な倫理基準、清き心重視などを学び、現代の日本人の考え方の原型となる思想を理解する。	定期試験 提出物
	5	日本の伝統的な考え方	・鎮護国家の教えとして伝えられた体系的な仏教が、やがて鎌倉時代以降、誰にでも修行しうる信や行に純粋化した日本仏教へと変容を遂げて民衆に広まっていたことを理解する。	
	6	日本の伝統的な考え方	・江戸時代には、哲学的な特色を持つ朱子学が奨励され、天地万物に通じる理のあり方が追究されたことを理解する。	
	7	日本の伝統的な考え方	・陽明学について学習する。朱子学との相違や、時代背景を鑑みながらその内容を理解する。	
2	9	日本の伝統的な考え方	・江戸時代には、一方で朱子学に反発する日本的な儒学が盛んになったこと、日本の古典を研究して、仏教や儒教の影響を受けない独自の日本人のあり方を求める国学が盛んになり、こうした流れが幕末以降の変革期に大きな役割を果たしたことを理解する。	定期試験 提出物

	10	民主政治における個人と国家	・「政治」や「経済」という言葉は、ニュースや新聞などでよく耳にする言葉ではあるが、それらの言葉がどういう言葉から生まれ、どのように使われるようになったのかを学ぶ。	
	11	民主政治における個人と国家	・国家の概念や民主政治の誕生に関して、歴史的な背景を概観しながら紹介し、理解する。 ・民主政治のもとになる社会契約説を唱えた啓蒙思想家のホッブズ、ロック、ルソーを紹介し、その理念の内容と差異について理解する。 ・法の支配という概念の形成過程を、歴史的背景をふまえながら概観し、近代国家誕生の礎となったことを理解する。	
	12	基本的人権の保障と法の支配	・基本的人権の歴史的な発展について、社会的背景をふまえながら概観する。	
3	1	日本国憲法の基本原理	・現代の政治においては、政党だけではなく多くの集団が政治に参加している多元主義が見られ、政策決定をめぐる様々な競争や調整や妥協が見られることを理解する。 ・近代国家においては、国家権力の専制を防ぎ、国民の権利を守るために憲法を制定して政治を行うことを理解する。 ・わが国においては、近代国家の体裁をととのえる為に大日本帝国憲法が制定された。その内容について理解する。 ・日本国憲法の制定過程について、歴史的背景をふまえながら概観し、その基本原理について学ぶ。 ・明治憲法と日本国憲法の差異について俯瞰する。	定期試験 提出物
	2	日本国憲法の基本原理	・日本国憲法の制定過程について、歴史的背景をふまえながら概観し、その基本原理について学ぶ。 ・明治憲法と日本国憲法の差異について俯瞰する。	
	3	基本的人権の保障と新しい人権	・自由権、社会権、参政権、平等権、国務請求権の内容をふまえ、それにまつわる各種の判例をとりあげながら、現代社会における人権の捉え方や課題について理解する。	

※ 上記の内容は、進捗によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	倫理	3	高校2年8組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『高校倫理 新訂版』(実教出版)	『テオリア最新倫理資料集 新版四訂』(第一学習社), 『2023 大学共通テスト 倫理重要問題集』(実教出版)

1. 学習の目標

人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己確立を目指し、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
思想に対する関心や、意欲を高めることができたか。意欲的に学習課題に取り組んでいる。	取り上げた先哲を、歴史的状況の中で理解できている。	学習の中で追求し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけている。	政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し、その知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	人間としての自覚 1. ギリシャ思想	<ul style="list-style-type: none"> ・神話的世界観に対して疑念を抱く人々が始めた自然哲学時代について学ぶ。 ・ミレトス学派を中心に万物の根源は何であるかという事を模索した自然哲学者たちを学び、概観する。 	定期試験 提出物
	5	自然哲学とソフィスト	<ul style="list-style-type: none"> ・自然哲学者の一部としてとらえられる向きもあるが、直接民主制下でのポリスにおいては、自らの弁論術を卓越させるために、ソフィストが台頭したこと、その思想について理解する。 ・相対主義や感覚主義を唱えるソフィストに対し、問答法と呼ばれる手法で真の知に迫ろうとしたソクラテスについて学ぶ。 	
	6	ソクラテス プラトン アリストテレス ヘレニズム思想	<ul style="list-style-type: none"> ・ソクラテスに師事していた弟子のうち、最も信頼されていたプラトンについて学ぶ。彼の最も特徴的な思想である「イデア論」について学ぶ。 ・幼少より天才と称され、のちに「万学の祖」とも称されるアリストテレスについて学ぶ。師のプラトンの理想主義に反対し、個物の実態はどこまでも現実の中に有るべきだという現実主義を学ぶ。 ・ポリス崩壊のため世界市民として生きていくことを余儀なくされた時代の個人主義と世界市民思想について学ぶ。 	
	7	2・宗教とは何か キリスト教 イスラーム	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教分野では、歴史的・社会的背景をふまえ、基本的な内容を理解する。 ・キリスト教のアガペーや隣人愛の精神を通して、他者との親愛なる関係を構築すべく、豊かな心情を修得する。 ・ムハンマドによって唱えられたイスラームの教えとイスラーム社会の特色について理解する。 	

2	9	現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳	・ルネサンスが近代の幕開けとなった運動であり、新たな人間像を提示し、人間中心主義を展開していったことを理解する。また、ルネサンスとともに宗教改革は近代を作り出すきっかけとなったことを理解し、プロテスタンティズムの自律の精神は、市民社会の成立などののちの歴史に大きな影響を与え、現代の我々の生活にもその影響が見られることを発見する。	定期試験 提出物
	10	科学技術と人間 民主社会と自由の実現 社会と個人	・ヨーロッパにおける中世末期から近世初期にかけての自然観の転換と経験論・合理論という近代科学や思想の源流となった学問の方法について理解する。 ・社会契約説が思想的ベースとなって近代民主社会が成立し、民主社会において人間の生き方が探求されたことや、人間の尊厳や社会性が考察されことを、カントやヘーゲルの思想から学ぶ。 ・資本主義の発展にもなう諸問題を背景に誕生した社会の改良を目指す思想や、社会の進歩や改善を唱える思想、さらに社会を変革して新たな社会をつくらうとする思想について学ぶ。また、社会の中の個人の主体性についての思想を理解する。	
	11	人間への新たな問い	・第二次世界大戦が終結し、核兵器による破滅の危機や地球規模の環境破壊など、20世紀には新たな問題が次々と浮上した。そうしたなか誕生した、近代の人間中心主義を根本的に反省し、改めて人間の現実をみつめなおした思想を理解する。	
	12	人間への新たな問い	・第二次世界大戦が終結し、核兵器による破滅の危機や地球規模の環境破壊など、20世紀には新たな問題が次々と浮上した。そうしたなか誕生した、近代の人間中心主義を根本的に反省し、改めて人間の現実をみつめなおした思想を理解する。	
3	1	社会参加と幸福	・20世紀になると、生命への畏敬を取り戻し、すべてを同胞として連帯し、共生していく社会を目指す思想が現れたことを把握し、人や生命が互いに幸福であるということはどういうことなのかをガンジーの思想やマザー＝テレサの行動などから考える。	定期試験 提出物
	2	社会参加と幸福	・20世紀になると、生命への畏敬を取り戻し、すべてを同胞として連帯し、共生していく社会を目指す思想が現れたことを把握し、人や生命が互いに幸福であるということはどういうことなのかをガンジーの思想やマザー＝テレサの行動などから考える。	
	3	社会参加と幸福	・20世紀になると、生命への畏敬を取り戻し、すべてを同胞として連帯し、共生していく社会を目指す思想が現れたことを把握し、人や生命が互いに幸福であるということはどういうことなのかをガンジーの思想やマザー＝テレサの行動などから考える。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	政治経済	2	高校2年8組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 政治・経済』(数研出版)	『政治・経済資料 2022』(とうほう), 『2023 大学入学共通テスト 政治・経済重要問題集』 (実教出版)

1. 学習の目標

民主主義の本質について理解を深めるとともに、理論的・体系的に理解し、現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に捉える。これらの理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。	現代の政治、経済、国際関係に関した諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係について基本的な事柄、本質や特質などを理論的・体系的に理解し、基本的な概念や理論を知識として身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第2編 第1章 現代経済のしくみと特質 1, 経済活動の意義と経済体制	・現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているのかを理解させるとともに、資本主義経済の特徴についても捉える。	定期試験 提出物
	5	2, 資本主義経済の発展と変容	・資本主義経済と比較しながら社会主義経済とはどのような経済体制であるかを理解するとともに、今日の代表的な例として中国経済にも関心を向ける。	
	6	3, 経済活動の主体	・3つの経済主体について学び、経済活動は人体の血液のように循環しており、非常に多くの個人や企業が関わりながら、生産と消費が繰り返されて成り立っている事を認識する。	
	7	4, 市場経済のしくみ	・市場経済の持つメカニズムについて理解し、需給の動向が市場に与える影響について学ぶ。	
2	9	5, 物価の動向	・インフレとデフレの要因や、それによる社会全体への影響について学ぶ。	定期試験 提出物

	10	6, 財政のしくみと租税	<ul style="list-style-type: none"> ・景気変動の要因について理解する。 ・財政活動による景気の調整や, 国家予算の内訳, 国債費の増加に伴う諸々の問題について理解する。 	
	11	7, 金融のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> ・景気の変動が激しくなると経済が混乱する為, 政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し, 国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。 	
	12	8, 戦後日本経済の歩み	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後日本の経済の発展を時系列に眺め, その流れの中でターニングポイントとなる政策やそれに伴う物価の変動, 諸問題について考察する。 	
3	1	9, 中小企業と農業・食料 10, 公害防止と環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済における中小企業の意義について理解し, その可能性について模索する。 ・戦後から現代における農業問題の変遷について理解し, 現状の日本の農業問題についても理解する。 	定期試験 提出物
	2	11, 消費者問題と消費者保護 12, 労使関係と労働市場	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模での問題といえる環境問題とその対策について学び, 未来を担う責任を感じる。 ・現代社会において消費者主権の観点から, どのような問題があるかを学ぶ。 ・働き方改革が叫ばれる中, より良い労働環境や労使関係とはどのようなものかを模索する。 	
	3	13, 少子高齢社会と社会保障	<ul style="list-style-type: none"> ・近年, 社会保障費の拡大が進み, 若年層への負担増が叫ばれる中で, 福祉国家としてこれからのあるべき姿を模索する。 	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	倫理政経	3	高校2年17組 (文理特進クラス)

使用教科書	副教材
『高校倫理 新訂版』(実教出版) 『改訂版 政治・経済』(数研出版)	『テオリア最新倫理資料集 新版四訂』(第一学習社), 『2023 大学共通テスト 倫理重要問題集』(実教出版), 『政治・経済資料 2022』(とうほう), 『2023 大学入学共通テスト 政治・経済重要問題集』 (実教出版)

1. 学習の目標

人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己確立を目指し、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。民主主義の本質について理解を深めるとともに、理論的・体系的に理解し、現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に捉える。これらを踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
思想に対する関心や、意欲を高めることができたか。意欲的に学習課題に取り組んでいる。 現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。	取り上げた先哲を、歴史的状況の中で理解することができている。 現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。	学習の中で追求し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけることができている。 現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現している。	政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的な事象を理解し、その知識を身につけることができている。 現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	人間としての自覚 1. ギリシャ思想	・神話的世界観に対して疑念を抱く人々が始めた自然哲学時代について学ぶ。 ・ミレトス学派を中心に万物の根源は何であるかという事を模索した自然哲学者たちを学び、概観する。	定期試験 提出物
	5	自然哲学とソフィスト	・自然哲学者の一部としてとらえられる向きもあるが、直接民主制下でのポリスにおいては、自らの弁論術を卓越させるために、ソフィストが台頭したことを理解し、その思想について理解する。 ・相対主義や感覚主義を唱えるソフィストに対し、問答法と呼ばれる手法で真の知に迫ろうとしたソクラテスについて学ぶ。	
	6	ソクラテス プラトン アリストテレス ヘレニズム思想	・ソクラテスに師事していた弟子のうち、最も信頼されていたプラトンについて学ぶ。彼の最も特徴的な思想である「イデア論」について学ぶ。 ・幼少より天才と称され、のちに「万学の祖」とも称されるアリストテレスについて学ぶ。師のプラトンの理想主義に反対し、個物の実態はどこまでも現実	

			<p>の中に有るべきだという現実主義を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリス崩壊のため世界市民として生きていくことを余儀なくされた時代の個人主義と世界市民思想について学ぶ。 	
	7	2・宗教とは何か キリスト教 イスラーム	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教分野では、歴史的・社会的背景をふまえ、基本的な内容を理解する。 ・キリスト教のアガペーや隣人愛の精神を通して、他者との親愛なる関係を構築すべく、豊かな心情を修得する。 ・ムハンマドによって唱えられたイスラームの教えとイスラーム社会の特色について理解する。 	
2	9	第2編 第1章 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスが近代の幕開けとなった運動であり、新たな人間像を提示し、人間中心主義を展開していったことを理解する。また、ルネサンスとともに宗教改革は近代を作り出すきっかけとなったことを理解し、プロテスタンティズムの自律の精神は、市民社会の成立などののちの歴史に大きな影響を与え、現代の我々の生活にもその影響が見られることを発見する。 	定期試験 提出物
	10	科学技術と人間 民主社会と自由の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパにおける中世末期から近世初期にかけての自然観の転換と経験論・合理論という近代科学や思想の源流となった学問の方法について理解する。 ・社会契約説が思想的ベースとなって近代民主社会が成立し、民主社会において人間の生き方が探求されたことや、人間の尊厳や社会性が考察したことを、カントやヘーゲルの思想から学ぶ。 	
	11	第2編 第1章 現代経済のしくみと特質 経済活動の意義と経済体制 資本主義経済の発展と変容 経済活動の主体	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているのかを理解させるとともに、資本主義経済の特徴についても捉える。 ・資本主義経済と比較しながら社会主義経済とはどのような経済体制であるかを理解させるとともに、今日の代表的な例として中国経済にも関心を向ける。 ・経済活動は人体の血液のように循環しており、非常に多くの個人や企業が関わりながら、生産と消費が繰り返されて成り立っている事を認識する。 ・現代の資本主義経済体制に求められているものは何かを捉える。 	
	12	市場経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の持つメカニズムについて理解し、需給の動向が市場に与える影響について学ぶ。 	
3	1	物価の動向 財政のしくみと租税	<ul style="list-style-type: none"> ・インフレとデフレの要因や、それによる社会全体への影響について学ぶ。 ・景気変動の要因について理解する。 ・財政活動による景気の調整や、国家予算の内訳、国債費の増加に伴う諸々の問題について理解する。 	定期試験 提出物
	2	金融のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> ・景気の変動が激しくなると経済が混乱する為、政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し、国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。 	
	3	金融のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> ・景気の変動が激しくなると経済が混乱する為、政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し、国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。 	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	高校2年1～8組 (文系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学Ⅱ』(数研出版)	『マスグレード改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館), 『はぎ取り式練習ドリル 数学Ⅱ』(数研出版), 『Libry』(株式会社Libry・デジタル教材)

1. 学習の目標

図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数, 微分と積分について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身に付けるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとしている。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決している。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1年次の総復習 3章 図形と方程式 1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式	数学Ⅰ, Aの総復習 数直線上の2点間の距離, 線分の内分点・外分点, 2点間の距離, 線分の内分点・外分点の座標, 点に関して対称な点 x, yの1次方程式の表す図形, 直線の方程式	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
		4. 2直線の関係 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円	2直線の関係と連立1次方程式の解, 2直線の交点を通る直線の方程式, 直線に関して対称な点, 点と直線の距離, 図形の性質の証明 円の方程式, $x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形 円と直線の共有点, 円と直線の位置関係, 円と接線の方程式 2つの円の位置関係, 2つの円の共有点	
	6	3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域 4章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ	軌跡と方程式 直線を境界線とする領域, 円を境界線とする領域, 連立不等式の表す領域, 領域と最大・最小, 領域を用いた証明法 一般角, 動径の表す角, 弧度法, 扇形の弧の長さや面積 一般角の三角関数, 三角関数の相互関係 $\theta+2n\pi$ の三角関数, $\theta+\pi$, $\theta+\pi/2$ の三角関数 $y=\sin\theta$, $y=\cos\theta$ のグラフ, $y=\tan\theta$ のグラフ, 三角関数のグラフの特徴, いろいろな三角関数のグラフ	
		5. 三角関数の応用	三角関数を含む方程式・不等式, 三角関数を含む関数の最大値・最小値	
	7		三角関数を含む関数の最大値・最小値	

2	9	2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	正弦, 余弦の加法定理, 正接の加法定理, 2直線のなす角 2倍角の公式, 半角の公式, 三角関数を含む方程式・不等式 三角関数の合成, 三角関数の合成の応用	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	5章 指数関数と対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質 対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式, 不等式,	
	11	5. 常用対数 6章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数 2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値	対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用 平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大, 極小 最大値・最小値,	
	12	6. 関数のグラフと方程式・不等式	方程式の実数解の個数, 不等式の証明	
3	1	3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分	導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	9. 面積	曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の内積	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	高校2年15組 (文系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学Ⅱ』(数研出版)	『マスマスグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館), 『フォーカスゴールド数学Ⅱ+B 4th Edition』(啓林館)

1. 学習の目標

三角関数, 指数関数・対数関数, 微分法と積分法について理解し, 基本的な知識から応用までの習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとしている。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決しようとしている。	基本的な概念, 原理・法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第4章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数	一般角, 動径の表す角, 弧度法, 扇形の弧の長さとの面積 一般角の三角関数, 三角関数の相互関係	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ	$\theta + 2n\pi$, $-\theta$, $\theta + \pi$, $\theta + \pi/2$ の三角関数 $y = \sin \theta$, $y = \cos \theta$, $y = \tan \theta$ のグラフ, 三角関数のグラフの特徴, いろいろな三角関数のグラフ	
	6	5. 三角関数の応用	三角関数を含む方程式・不等式 三角関数を含む関数の最大値・最小値 正弦・余弦・正接の加法定理, 2直線のなす角 (基礎学対策を含む)	
2	9	第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	3. 対数とその性質	対数, 対数の性質, 底の変換公式	
	11	4. 対数関数 5. 常用対数	対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用 (基礎学対策を含む)	
3	1	第6章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数,	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物

		1. 微分係数 2. 導関数 2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと 方程式・不等式	極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大・極小 方程式の実数解の個数, 不等式の証明	
	2	3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積 (基礎学対策を含む)	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	5	高校2年9～14組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学Ⅱ』(数研出版), 『改訂版 数学Ⅲ』(数研出版)	『マスグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館), 『マスグレード 改訂版 数学Ⅲ』(啓林館), 『はぎ取り式練習ドリル 数学Ⅱ 標準編』(数研出版), 『はぎ取り式練習ドリル 数学Ⅲ 標準編』(数研出版)

1. 学習の目標

図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分と積分について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに、数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとしている。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決しようとしている。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学対策 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係	数直線上の2点間の距離、線分の内分点、外分点 2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標、点に関して対称な点 2直線の交点を通る直線の方程式、直線に関して対称な点、点と直線の距離、図形の性質の証明	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	第2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 第3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	円の方程式、 $x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形、 円と直線の共有点、円と直線の位置関係、円の接線の方程式 2つの円の位置関係、2つの円の共有点 直線を境界とする領域、円を境界とする領域、連立不等式の表す領域、領域と最大・最小、領域を利用した証明法	
	6	第4章 三角関数 第1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 第2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	一般角、動径の表す角、弧度法、扇形の弧の長さや面積 一般角の三角関数、三角関数の相互関係 $\theta+2n\pi$ 、 $-\theta$ 、 $\theta+\pi$ 、 $\theta+\pi/2$ の三角関数 $y=\sin\theta$ 、 $y=\cos\theta$ 、 $y=\tan\theta$ のグラフ、三角関数のグラフの特徴、 いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式、三角関数を含む関数の最大値・最小値 正弦・余弦・正接の加法定理、2直線のなす角 2倍角の公式、半角の公式、三角関数を含む方程式・不等式 三角関数の合成、三角関数の合成の応用	

2	9	第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質, 対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不 等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数 第2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分 係数, 微分係数の図形的な意味 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大・極小	
	11	5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと方程式・ 不等式 第3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	方程式の実数解の個数, 不等式の証明 導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた 関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積	
3	1	【数学Ⅲ】 第3章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数	$y=k/x$ のグラフ, $y=k/(x-p)+q$ のグラフ, $y=(ax+b)/(cx+d)$ の グラフ, 分数関数のグラフと直線の共有点 $y=\sqrt{ax}$ のグラフ, $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフ, 無理関数のグラフと直線 の共有点 逆関数, 逆関数の性質, 指数関数の逆関数, 合成関数	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	第4章 極限 第1節 数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列 3. 無限級数	数列の収束と発散, 数列の極限の性質 無限等比数列の極限, 無限等比数列の極限の応用, 漸化式で定められる数列の極限 無限級数の収束と発散, 無限等比級数, 循環小数と無限等比級数, 無限級数の性質, 無限級数の収束・発散と項の極限	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	5	高校2年16組 (理系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学Ⅱ』(数研出版), 『改訂版 数学Ⅲ』(数研出版)	『マスマグレート 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館), 『マスマグレート 改訂版 数学Ⅲ』(啓林館), 『フォーカスゴールド 数学Ⅱ+B』(啓林館), 『フォーカスゴールド 数学Ⅲ』(啓林館)

1. 学習の目標

三角関数, 指数と対数, 微分法と積分法, 関数とその極限, 微分法, 微分法の実用, 積分法, 積分法の実用について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用している。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決している。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	(数学Ⅱ) 第4章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用	一般角, 動径の表す角, 弧度法, 扇形の弧の長さとの面積 一般角の三角関数, 三角関数の相互関係 $\theta + 2n\pi$, $-\theta$, $\theta + \pi$, $\theta + \pi/2$ の三角関数 $y = \sin \theta$, $y = \cos \theta$, $y = \tan \theta$ のグラフ, 三角関数のグラフの特徴, いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式 三角関数を含む関数の最大値・最小値	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	5	2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の実用 8. 三角関数の合成 第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	正弦・余弦・正接の加法定理, 2直線のなす角 2倍角の公式, 半角の公式, 三角関数を含む方程式・不等式 三角関数の合成, 三角関数の合成の実用 0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数, 指数関数のグラフ, 指数関数の性質 対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の実用	
	6	6章 微分法と 積分法 1節 微分係数と 導関数 1. 微分係数 2. 導関数 2節 導関数の実用 3. 接線	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限値と微分係数, 微分係数の図形的な意味, 関数の極限値 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 関数 x の n 乗の導関数の公式の証明 接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式	

2	9	4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと 方程式・不等式 3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	関数の増減, 関数の極大, 極小 方程式の実数解の個数, 不等式の証明 導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2 つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積, 放物線と直線で囲まれた図形の面積	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	10	(数学Ⅲ) 2節 関数の極限 4. 関数の極限 5. 三角関数と極限 6. 関数の連続性 5章 微分法 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. いろいろな関数の導関数 4. 第 n 次導関数 5. 関数のいろいろな 表し方と導関数	$x \rightarrow \alpha$ のときの関数の極限とその性質, 極限の計算, 極限が有限な値でない場合, 関数の片側からの極限, $x \rightarrow \infty, x \rightarrow -\infty$ のときの関数の極限, 指数関数, 対数関数の極限 三角関数の極限, $\sin x/x$ の極限, 三角関数の極限の 応用 関数の連続性, 連続関数の性質, 微分係数, 微分可能と連続, 導関数 導関数の性質, 積の導関数, 商の導関数, 合成関数の 微分法 三角関数の導関数, 対数関数の導関数, 指数関数の導 関数 方程式 $F(x, y)=0$ で定められる関数の導関数, 媒介変数表示と導関数 曲線 $y=f(x)$ の接線と法線, 共有点で同じ接線をもつ 2 つの曲線	
	11	6章 微分法の応用 1節 導関数の応用 1. 接線と法線 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数の最大最小 5. 関数のグラフ 6. 方程式, 不等式 への応用 2節 速度と近似式 7. 速度と加速度 8. 近似式	$F(x, y)=0$ で表される曲線の接線と法線, 方程式の重 解と微分 平均値の定理, 平均値の定理の利用, 平均値の定理の 証明 関数の増加と減少, 関数の極大と極小 曲線の凹凸, 関数のグラフの概形, 第 2 次導関数と極 限 不等式の証明, 方程式の実数解の個数 直線上の点の運動, 平面上の点の運動 1 次と 2 次の近似式	
3	1	7章 積分法 1節 不定積分 1. 不定積分と その基本性質 2. 置換積分法 3. 部分積分法 4. いろいろな関数の不定 積分	不定積分, 不定積分の基本性質, 三角関数, 指数関数の不定積分 $f(ax+b)$ の不定積分, 置換積分法, $f(g(x))g'(x)$ の不定 積分, $g'(x)/g(x)$ の不定積分 分数関数の不定積分, 三角関数に関する不定積分	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	2	2節 定積分 5. 定積分とその基本性質 6. 定積分の置換積分法 7. 定積分の部分積分法 8. 定積分の種々の問題	定積分, 定積分の性質, 絶対値のついた関数の定積分 定積分の置換積分法, 偶関数, 奇関数の定積分 定積分で表された関数, 定積分と和の極限, 定積分と 不等式	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	高校2年17組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学Ⅱ』(数研出版), 『改訂版 数学Ⅲ』(数研出版)	『マスグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館), 『マスグレード 改訂版 数学Ⅲ』(啓林館), 『フォーカスゴールド 数学Ⅱ+B』(啓林館), 『フォーカスゴールド 数学Ⅲ』(啓林館)

1. 学習の目標

三角関数, 指数と対数, 微分法と積分法, 関数とその極限, 微分法, 微分法の実用, 積分法, 積分法の実用について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用している。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決している。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	(数学Ⅱ) 第4章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用	一般角, 動径の表す角, 弧度法, 扇形の弧の長さとの面積 一般角の三角関数, 三角関数の相互関係 $\theta + 2n\pi$, $-\theta$, $\theta + \pi$, $\theta + \pi/2$ の三角関数 $y = \sin \theta$, $y = \cos \theta$, $y = \tan \theta$ のグラフ, 三角関数のグラフの特徴, いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式 三角関数を含む関数の最大値・最小値	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	5	2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の実用 8. 三角関数の合成 第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	正弦・余弦・正接の加法定理, 2直線のなす角 2倍角の公式, 半角の公式, 三角関数を含む方程式・不等式 三角関数の合成, 三角関数の合成の実用 0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質 対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の実用	
	6	6章 微分法と 積分法 1節 微分係数と 導関数 1. 微分係数 2. 導関数 2節 導関数の実用 3. 接線	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味, 関数の極限值 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 関数 x の n 乗の導関数の公式の証明 接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式	
	7			

2	9	4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと 方程式・不等式 3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	関数の増減, 関数の極大, 極小 方程式の実数解の個数, 不等式の証明 導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2 つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積, 放物線と直線で囲まれた図形の面積	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	10	(数学Ⅲ) 2節 関数の極限 4. 関数の極限 5. 三角関数と極限 6. 関数の連続性 5章 微分法 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. いろいろな関数の導関数 4. 第n次導関数 5. 関数のいろいろな 表し方と導関数	$x \rightarrow \alpha$ のときの関数の極限とその性質, 極限の計算, 極限が有限な値でない場合, 関数の片側からの極限, $x \rightarrow \infty$, $x \rightarrow -\infty$ のときの関数の極限, 指数関数, 対数関数の極限 三角関数の極限, $\sin x/x$ の極限, 三角関数の極限の 応用 関数の連続性, 連続関数の性質, 微分係数, 微分可能と連続, 導関数 導関数の性質, 積の導関数, 商の導関数, 合成関数の 微分法 三角関数の導関数, 対数関数の導関数, 指数関数の導 関数 方程式 $F(x, y)=0$ で定められる関数の導関数, 媒介変数表示と導関数 曲線 $y=f(x)$ の接線と法線, 共有点で同じ接線をもつ 2 つの曲線	
	11	6章 微分法の応用 1節 導関数の応用 1. 接線と法線 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数の最大最小 5. 関数のグラフ 6. 方程式, 不等式 への応用 2節 速度と近似式 7. 速度と加速度 8. 近似式	$F(x, y)=0$ で表される曲線の接線と法線, 方程式の重 解と微分 平均値の定理, 平均値の定理の利用, 平均値の定理の 証明 関数の増加と減少, 関数の極大と極小 曲線の凹凸, 関数のグラフの概形, 第2次導関数と極 限 不等式の証明, 方程式の実数解の個数 直線上の点の運動, 平面上の点の運動 1次と2次の近似式	
	12			
3	1	7章 積分法 1節 不定積分 1. 不定積分と その基本性質 2. 置換積分法 3. 部分積分法 4. いろいろな関数の不定 積分	不定積分, 不定積分の基本性質, 三角関数, 指数関数の不定積分 $f(ax+b)$ の不定積分, 置換積分法, $f(g(x))g'(x)$ の不定 積分, $g'(x)/g(x)$ の不定積分 分数関数の不定積分, 三角関数に関する不定積分	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	2	2節 定積分 5. 定積分とその基本性質 6. 定積分の置換積分法 7. 定積分の部分積分法 8. 定積分の種々の問題	定積分, 定積分の性質, 絶対値のついた関数の定積分 定積分の置換積分法, 偶関数, 奇関数の定積分 定積分で表された関数, 定積分と和の極限, 定積分と 不等式	
	3			

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	2	高校2年1～8組 (文系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学B』(数研出版)	『マスグレード改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館), 『はぎ取り式練習ドリル 数学B』(数研出版), 『Libry』(株式会社Libry・デジタル教材)

1. 学習の目標

平面上のベクトル, 空間のベクトル, 数列について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身に付けるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用している。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決している。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1章 平面上のベクトル 1節 平面上のベクトルとその演算 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算	有向線分とベクトル, ベクトルの相等 ベクトルの加法, 逆ベクトルと零ベクトル, ベクトルの減法, ベクトルの実数倍, ベクトルの平行, ベクトルの分解	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 ベクトルの内積, 内積と成分, ベクトルのなす角, 内積の性質, 三角形の面積	
	6	2節 ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. ベクトル方程式	位置ベクトル, 線分の内分点・外分点の位置ベクトル, 三角形の重心の位置ベクトル 一直線上の点, 2直線の交点, 内積の利用 直線と方向ベクトル, 異なる2点を通る直線のベクトル方程式, 平面上の点の存在範囲, 直線と法線ベクトル, 円のベクトル方程式	
2	9	2章 空間のベクトル 1. 空間の座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	7. 座標空間における図形	線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式	

		3章 数列 1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和	等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和,	
	11	3. 等比数列とその和 4. 和の記号 Σ	いろいろな自然数の数列の和 等比数列, 等比数列の和, 複利計算と等比数列 累乗の和, 和の記号 Σ , Σ の性質	
	12	5. 階差数列	階差数列, 数列の和と一般項	
3	1	6. いろいろな数列の和 2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列	和の求め方の工夫, 群数列 漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式の応用	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	8. 数学的帰納法	数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法	
	3			

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	2	高校2年15組(文系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学B』(数研出版)	『マースグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館), 『フォーカスゴールド 数学Ⅱ+B』(啓林館)

1. 学習の目標

数列について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに、数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとしている。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決している。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第3章 数列 第1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和	数列 等差数列、等差数列の性質、等差数列の和、 いろいろな自然数の数列の和	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	3. 等比数列とその和 4. 和の記号 Σ	等比数列、等比数列の和 累乗の和、和の記号 Σ 、 Σ の性質	
	6	5. 階差数列 6. いろいろな数列の和	階差数列、数列の和と一般項 和の求め方の工夫、群数列	
2	9	第2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法	漸化式、漸化式で定められる数列の一般項、漸化式の応用 数学的帰納法による等式の証明、 数学的帰納法による整数の性質の証明、 数学的帰納法による不等式の証明、漸化式と数学的帰納法	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	総合復習	I・A 復習	
	11		I・A 復習	
	12		I・A 復習	
3	1		II・B 復習	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2		II・B 復習	
	3		II・B 復習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	3	高校2年9～14組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学B』(数研出版), 『改訂版 数学III』(数研出版)	『マスグレード 改訂版 数学II+B』(啓林館), 『マスグレード 改訂版 数学III』(啓林館), 『はぎ取り式 練習ドリル 数学B 標準編』(数研出版), 『はぎ取り式 練習ドリル 数学III 標準編』(数研出版)

1. 学習の目標

平面上のベクトル, 空間のベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとしている。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決しようとしている。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【数学B】 第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	有向線分とベクトル, ベクトルの相等 ベクトルの加法, 逆ベクトルと零ベクトル, ベクトルの減法, ベクトルの実数倍, ベクトルの平行, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 ベクトルの内積, 内積と成分, ベクトルのなす角, 内積の性質	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	第2節 ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. ベクトル方程式	位置ベクトル, 線分の内分点・外分点の位置ベクトル, 三角形の重心の位置ベクトル 一直線上の点, 2直線の交点, 内積の利用 直線と方向ベクトル, 異なる2点を通る直線のベクトル方程式, 平面上の点の存在範囲, 直線と法線ベクトル, 円のベクトル方程式	
	6	第2章 空間のベクトル 1. 空間の座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. 座標空間における図形	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル 一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線 線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式	
	7			

2	9	第3章 数列 第1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和 3. 等比数列とその和 4. 和の記号 Σ 5. 階差数列 6. いろいろな数列の和	数列 等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和 等比数列, 等比数列の和 累乗の和, 和の記号 Σ , Σ の性質 階差数列, 数列の和と一般項 和の求め方の工夫, 群数列	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	第2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法	漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式の応用 数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法	
	11	【数学Ⅲ】 第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式と乗法, 除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	複素数平面, 複素数の実数倍, 複素数の加法・減法, 共役な複素数, 絶対値と2点間の距離 極形式, 複素数の乗法・除法, 複素数の積と商の図形的な意味 ド・モアブルの定理, n 乗根 線分の内分点・外分点, 方程式の表す図形, 一般の点を中心とする回転, 半直線のなす角	
	12			
3	1	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動	放物線の方程式, y 軸を軸とする放物線 楕円の方程式, 焦点が y 軸上にある楕円, 円と楕円, 軌跡と楕円 双曲線の方程式, 焦点が y 軸上にある双曲線, 直角双曲線 曲線 $F(x, y)=0$ の平行移動, $ax^2+by^2+cx+dy+e=0$ の表す図形	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質 第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式 9. コンピュータと いろいろな曲線	2次曲線と直線の共有点, 2次曲線の接線の方程式 2次曲線の性質 媒介変数表示, 直線群と媒介変数表示, 一般角 θ を用いた円の媒介変数表示, 楕円の媒介変数表示, 双曲線の媒介変数表示, 媒介変数で表された曲線の平行移動, サイクロイド 極座標, 極座標と直交座標の関係, 極方程式, 2次曲線の極方程式 媒介変数で表された曲線, 極方程式で表された曲線	
	3			

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	3	高校2年16・17組 (理系・文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学B』(数研出版), 『改訂版 数学III』(数研出版)	『マスマグレード 改訂版 数学II+B, III』(啓林館), 『FocusGold 数学II+B, III』(啓林館)

1. 学習の目標

数列, 複素数平面, 式と曲線, 関数について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 数学的な見方や考え方	3. 数学的な技能	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方のよさを認識し, 事象の考察に活用している。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決しようとしている。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【数学B】 第3章 数列 第1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和	等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	3. 等比数列とその和 4. 和の記号 Σ	等比数列, 等比数列の和 累乗の和, 和の記号 Σ , Σ の性質	
	6	5. 階差数列 6. いろいろな数列の和 第2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法	階差数列, 数列の和と一般項 和の求め方の工夫, 群数列 漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式的应用, 数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法	
2	9	【数学III】 第4章 極限 第1節 数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列 3. 無限級数	数列の収束と発散, 数列の極限の性質 無限等比数列の極限, 無限等比数列の極限の応用, 漸化式で定められる数列の極限 無限級数の収束と発散, 無限等比級数, 循環小数と無限等比級数, 無限級数の性質, 無限級数の収束・発散と項の極限	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動	放物線の方程式, y軸を軸とする放物線 楕円の方程式, 焦点がy軸上にある楕円, 円と楕円, 軌跡と楕円 双曲線の方程式, 焦点がy軸上にある双曲線, 直角双曲線 曲線の平行移動, $ax^2+by^2+cx+dy+e=0$ の表す図形	

	11	5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質 第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式	2次曲線と直線の共有点, 2次曲線の接線の方程式, 接線の方程式の一般形 媒介変数表示, 直線群と媒介変数表示, 一般角を用いた円の媒介変数表示, 楕円の媒介変数表示, 双曲線の媒介変数表示, 媒介変数で表示された曲線の平行移動, サイクロイド, いろいろな曲線の媒介変数表示 極座標, 極座標と直交座標の関係, 極方程式, 2次曲線の極方程式	
3	1	第3章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数	$y=k/x$ のグラフ, $y=k/(x-p)+q$ のグラフ, $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフ, 分数関数のグラフと直線の共有点 $y=\sqrt{ax}$ のグラフ, $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフ, 無理関数のグラフと直線の共有点 逆関数, 逆関数の性質, 指数関数の逆関数, 合成関数	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式と乗法, 除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	複素数平面, 複素数の実数倍, 複素数の加法減法, 共役な複素数, 絶対値と2点間の距離 極形式, 複素数の乗法除法, 複素数の積と商の図形的な意味 ド・モアブルの定理, n 乗根, 線分の内分点外分点, 方程式の表す図形, 一般の点を中心とする回転, 半直線のなす角	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	高校2学9組～12組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 総合物理1』(数研出版) 『改訂版 総合物理2』(数研出版)	『補訂版 センサー 総合物理+物理 (Libry)』(啓林館)

1. 学習の目標

身近な自然の事象・現象についての観察、実験を通して、自然に対する関心や探究心を高め、物理的に探究する能力と態度を身に付ける。主に物理分野に関する現象を観察、実験などを通して探究し、基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。将来的に理系物理を選択し、理工系の大学を目指すきっかけを作り、2年次で物理を選択した場合の基礎力を身に付ける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
身近な自然の事象・現象に関心をもち、毎時間の授業に意欲的に取り組むことができる。	授業で学んだ内容を理解し、実験などを通して、科学的な思考力や判断力を身につけることができる。	実験の過程と結果及びそこから導き出した考察を的確に表現することができる。	自然の事象・現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけることができる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1年次の復習	1年次の復習	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
		第1編 力と運動 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則	速度、加速度、落体の運動 力とそのはたらき、力とつりあい、運動の法則、摩擦を受ける力、剛体にはたらく力のつりあい	
		第3章 仕事と力学的エネルギー 第4章 運動量の保存	仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー 運動量と力積、運動量保存則、反発係数	
		第5章 円運動と万有引力	等速円運動、慣性力、単振動、万有引力	
2	9	第2編 熱と気体 第1章 熱と物質 第2章 気体のエネルギーと状態変化	熱と熱量、熱と物質の状態、熱と仕事 気体の法則、気体分子の運動、気体の状態変化、エネルギーの移り変わり	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
		第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音	波と媒質の運動、正弦波の式、波の伝わり方 音の性質、発音体の振動と共振・共鳴	
		第2章 音	音のドップラー効果	
		第3章 光 第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流	光の性質、レンズと鏡、光の干渉と回折 静電気力、電場、電位、物質と電場、コンデンサー オームの法則、直流回路、半導体	
2	10	第3章 電流と磁場	磁場、電流のつくる磁場、電流が磁場から受ける力、ローレンツ力	定期試験 出席状況 行動観察
		第4章 電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則、自己誘導と相互誘導、交流の発生	
2	12	第4章 電磁誘導と電磁波	交流回路	

3	1	第5編 原子 第1章 電子と光	電子, 光の粒子性, X線, 粒子の波動性	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
	2	第2章 原子と原子核	原子の構造とエネルギー準位, 原子核, 放射線とその性質	
	3	第2章 原子と原子核	核反応と核エネルギー, 素粒子	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	4	高校2学16組 (理系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 総合物理1』(数研出版) 『改訂版 総合物理2』(数研出版)	『補訂版 センサー 総合物理+物理 (Libry)』(啓林館)

1. 学習の目標

身近な自然の事象・現象についての観察、実験を通して、自然に対する関心や探究心を高め、物理的に探究する能力と態度を身に付ける。主に物理分野に関する現象を観察、実験などを通して探究し、基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。将来的に理系物理を選択し、理工系の大学を目指すきっかけを作り、2年次で物理を選択した場合の基礎力を身に付ける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
身近な自然の事象・現象に関心をもち、毎時間の授業に意欲的に取り組むことができる。	授業で学んだ内容を理解し、実験などを通して、科学的な思考力や判断力を身につけることができる。	実験の過程と結果及びそこから導き出した考察を的確に表現することができる。	自然の事象・現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけることができる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1年次の復習	1年次の復習	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
		第1編 力と運動 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則	速度、加速度、落体の運動 力とそのはたらき、力とつりあい、運動の法則、摩擦を受ける力、剛体にはたらく力のつりあい	
		第3章 仕事と力学的エネルギー 第4章 運動量の保存	仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー 運動量と力積、運動量保存則、反発係数	
		第5章 円運動と万有引力	等速円運動、慣性力、単振動、万有引力	
2	9	第2編 熱と気体 第1章 熱と物質 第2章 気体のエネルギーと状態変化	熱と熱量、熱と物質の状態、熱と仕事 気体の法則、気体分子の運動、気体の状態変化、エネルギーの移り変わり	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
		第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音	波と媒質の運動、正弦波の式、波の伝わり方 音の性質、発音体の振動と共振・共鳴	
		第2章 音	音のドップラー効果	
		第3章 光 第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流	光の性質、レンズと鏡、光の干渉と回折 静電気力、電場、電位、物質と電場、コンデンサー オームの法則、直流回路、半導体	
2	10	第3章 電流と磁場	磁場、電流のつくる磁場、電流が磁場から受ける力、ローレンツ力	定期試験 出席状況 行動観察
		第4章 電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則、自己誘導と相互誘導、交流の発生	
2	11	第4章 電磁誘導と電磁波	交流回路	
		第4章 電磁誘導と電磁波		

3	1	第5編 原子 第1章 電子と光	電子, 光の粒子性, X線, 粒子の波動性	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
	2	第2章 原子と原子核	原子の構造とエネルギー準位, 原子核, 放射線とその性質	
	3	第2章 原子と原子核	核反応と核エネルギー, 素粒子	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	高校2学17組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 総合物理1』(数研出版) 『改訂版 総合物理2』(数研出版)	『補訂版 センサー 総合物理+物理 (Libry)』(啓林館)

1. 学習の目標

<p>身近な自然の事象・現象についての観察、実験を通して、自然に対する関心や探究心を高め、物理的に探究する能力と態度を身に付ける。</p> <p>主に物理分野に関する現象を観察、実験などを通して探究し、基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。将来的に理系物理を選択し、理工系の大学を目指すきっかけを作り、2年次で物理を選択した場合の基礎力を身に付ける。</p>
--

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
身近な自然の事象・現象に関心をもち、毎時間の授業に意欲的に取り組むことができる。	授業で学んだ内容を理解し、実験などを通して、科学的な思考力や判断力を身につけることができる。	実験の過程と結果及びそこから導き出した考察を的確に表現することができる。	自然の事象・現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけることができる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1年次の復習	1年次の復習	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
		第1編 力と運動 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則	速度、加速度、落体の運動 力とそのはたらき、力とつりあい、運動の法則、摩擦を受ける力、剛体にはたらく力のつりあい	
		第3章 仕事と力学的エネルギー 第4章 運動量の保存	仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー 運動量と力積、運動量保存則、反発係数	
		第5章 円運動と万有引力	等速円運動、慣性力、単振動、万有引力	
2	9	第2編 熱と気体 第1章 熱と物質 第2章 気体のエネルギーと状態変化	熱と熱量、熱と物質の状態、熱と仕事 気体の法則、気体分子の運動、気体の状態変化、エネルギーの移り変わり	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
		第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音	波と媒質の運動、正弦波の式、波の伝わり方 音の性質、発音体の振動と共振・共鳴	
		第3章 音	音のドップラー効果	
		第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流	光の性質、レンズと鏡、光の干渉と回折 静電気力、電場、電位、物質と電場、コンデンサー オームの法則、直流回路、半導体	
2	10	第3章 電流と磁場	磁場、電流のつくる磁場、電流が磁場から受ける力、ローレンツ力	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
		第4章 電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則、自己誘導と相互誘導、交流の発生	
		第4章 電磁誘導と電磁波	交流回路	

3	1	第5編 原子 第1章 電子と光	電子, 光の粒子性, X線, 粒子の波動性	授業への取り組み 提出物 小テスト 模試結果 定期試験 出席状況 行動観察
	2	第2章 原子と原子核	原子の構造とエネルギー準位, 原子核, 放射線とその性質	
	3	第2章 原子と原子核	核反応と核エネルギー, 素粒子	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	3	高校2学年9組～14組(理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂 高等学校 化学』(第一学習社)	『セミナー化学基礎+化学』(第一学習社) 『フォトサイエンス化学図録』(数研出版)

1. 学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身に付ける。また、物質の構成粒子の、基本的な概念を理解し、物質について徹視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付ける。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断する。	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解	イオン化傾向の差によって電流が流れる電池の仕組みと、具体的な例について学習する。 酸化還元反応の一種であり、電流を流すことで強制的に反応を起こす仕組みについて学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5	第Ⅰ章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 第2節 物質の三態と熱運動	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念、応用について学習する。	
	6	第3節 気体の性質 第4節 溶液の性質 第Ⅱ章 物質の変化と平衡	混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。 飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。 コロイド粒子の性質を学習する。	
	7	第1節 物質とエネルギー	熱化学方程式作り方の習得、ヘスの法則を理解する。	
2	9	化学反応の速さ 第4節 化学平衡 (電離平衡含む)	反応速度及び反応速度式を理解する。 化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から以下の内容を学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物

	10	第三章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物 ①元素の分類と性質 ②水素	元素の分類を理解する。 水素, その化合物について性質や用途を学習する。	
	11	③希ガス ④ハロゲン ⑤酸素・硫黄 ⑥窒素・リン ⑦炭素・ケイ素	希ガスについて, 性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。 窒素, リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素, ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。	
	12	第2節 金属元素の単体とその化合物 ①アルカリ金属 ②2族元素 ③両性元素・水銀	アルカリ金属とその化合物について性質や用途を学習する。 2族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性元素の単体・水銀とその化合物について性質や用途を学習する。	
3	1	第3節 遷移元素の単体とその化合物 ①鉄 ②銅 ③銀 ④クロム・マンガン ⑤金属イオンの定性分析	銅, 銀, 鉄, クロム, マンガンとその化合物について性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	2	IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と構造 ①特徴と分類 ②化学式の決定 第2節 脂肪族炭化水素 ① アルカンとシクロアルカン	脂肪族炭化水素の性質や反応性, ①と②の性質の相違を学習する。	
	3	② アルケンとアルキン		

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	4	高校2学年16組 (理系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂 高等学校 化学』(第一学習社)	『セミナー化学基礎+化学』(第一学習社) 『フォトサイエンス化学図録』(数研出版)

1. 学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身に付ける。また、物質の構成粒子の、基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付ける。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断する。	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解	酸化還元反応の一種であり、電流を流すことで強制的に反応を起こす仕組みについて学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5	第Ⅰ章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 第2節 物質の三態と熱運動	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念、応用について学習する。	
	6	第3節 気体の性質 第4節 溶液の性質 第Ⅱ章 物質の変化と平衡	混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。 飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。 コロイド粒子の性質を学習する。	
	7	第1節 物質とエネルギー	熱化学方程式作り方の習得、ヘスの法則を理解する。	
2	9	化学反応の速さ 第4節 化学平衡 (電離平衡含む)	反応速度及び反応速度式を理解する。 化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から以下の内容を学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	10	第Ⅲ章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物 ①元素の分類と性質 ②水素	元素の分類を理解する。 水素、その化合物について性質や用途を学習する。	

	11	③希ガス ④ハロゲン ⑤酸素・硫黄 ⑥窒素・リン ⑦炭素・ケイ素	希ガスについて、性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。 窒素、リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素、ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。	
	12	第2節 金属元素の単体と その化合物 ①アルカリ金属 ②2族元素 ③両性元素・水銀	アルカリ金属とその化合物について性質や用途を 学習する。 2族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性元素の単体・水銀とその化合物について性質や用途 を学習する。	
	1	第3節 遷移元素の単体と その化合物 ①鉄 ②銅 ③銀 ④クロム・マンガン ⑤金属イオンの定性分析	銅、銀、鉄、クロム、マンガンとその化合物について 性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
3	2	IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と 構造 ①特徴と分類 ②化学式の決定 第2節 脂肪族炭化水素 ① アルカンと シクロアルカン ② アルケンと アルキン 第3節 酸素を含む脂肪族 化合物 ①アルコールと エーテル ②アルデヒドと ケトン ③カルボン酸と エステル ④油脂とセッケン 第4節 芳香族化合物 ① 芳香族炭化水素 ② 酸素を含む芳香族化合 物 ③ その他の原子を 含む芳香族化合物 ④ 有機化合物の分離 第V章 高分子化合物 第1節 糖類	炭化水素や、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が その構造に特徴づけられることを見出す。 構造式からその性質や反応性を考察、判断する。 構造異性体の関係を理解し、知識を身に付ける。 代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。 有機化合物の性質や反応性について、日常生活に 関連付けて理解する。 官能基の性質に対する知識を身に付ける。 脂肪族炭化水素の性質や反応性、①と②の性質の相違 を学習する。 酸素を含むことにより、性質の相違、反応性について 学習する。 ①と②と③の関連性、④との関連性について学習する。 芳香族化合物について、性質や反応性の相違を学習する。 また脂肪族化合物との相違についても学習する ① 芳香族炭化水素 ② フェノール類、芳香族カルボン酸 ③ 芳香族アミンとそれに付随する化合物 ④ 性質の相違を利用した分離方法を学習する。	
	3	第2節 タンパク質 第3節 合成高分子化合物	単糖、二糖、多糖の性質や用途を学習する。 タンパク質とそれを構成するアミノ酸の性質を学習す る。 合成繊維、合成樹脂、ゴムの用途や性質を学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	3	高校2学年17組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂 高等学校 化学』(第一学習社)	『セミナー化学基礎+化学』(第一学習社) 『フォトサイエンス化学図録』(数研出版)

1. 学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身に付ける。また、物質の構成粒子の、基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付ける。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断する。	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解	酸化還元反応の一種であり、電流を流すことで強制的に反応を起こす仕組みについて学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5	第Ⅰ章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 第2節 物質の三態と熱運動	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念、応用について学習する。	
	6	第3節 気体の性質 第4節 溶液の性質 第Ⅱ章 物質の変化と平衡	混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。 飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。 コロイド粒子の性質を学習する。	
	7	第1節 物質とエネルギー	熱化学方程式作り方の習得、ヘスの法則を理解する。	
2	9	化学反応の速さ 第4節 化学平衡 (電離平衡含む)	反応速度及び反応速度式を理解する。 化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から以下の内容を学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	10	第Ⅲ章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物 ①元素の分類と性質 ②水素	元素の分類を理解する。 水素、その化合物について性質や用途を学習する。	

	11	③希ガス ④ハロゲン ⑤酸素・硫黄 ⑥窒素・リン ⑦炭素・ケイ素	希ガスについて、性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。 窒素、リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素、ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。	
	12	第2節 金属元素の単体と その化合物 ①アルカリ金属 ②2族元素 ③両性元素・水銀	アルカリ金属とその化合物について性質や用途を 学習する。 2族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性元素の単体・水銀とその化合物について性質や用途 を学習する。	
	1	第3節 遷移元素の単体と その化合物 ①鉄 ②銅 ③銀 ④クロム・マンガン ⑤金属イオンの定性分析	銅、銀、鉄、クロム、マンガンとその化合物について 性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
3	2	IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と 構造 ①特徴と分類 ②化学式の決定 第2節 脂肪族炭化水素 ① アルカンと シクロアルカン ② アルケンと アルキン 第3節 酸素を含む脂肪族 化合物 ①アルコールと エーテル ②アルデヒドと ケトン ③カルボン酸と エステル ④油脂とセッケン 第4節 芳香族化合物 ① 芳香族炭化水素 ② 酸素を含む芳香族化合 物 ③ その他の原子を 含む芳香族化合物 ④ 有機化合物の分離 第V章 高分子化合物 第1節 糖類	炭化水素や、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が その構造に特徴づけられることを見出す。 構造式からその性質や反応性を考察、判断する。 構造異性体の関係を理解し、知識を身に付ける。 代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。 有機化合物の性質や反応性について、日常生活に 関連付けて理解する。 官能基の性質に対する知識を身に付ける。 脂肪族炭化水素の性質や反応性、①と②の性質の相違 を学習する。 酸素を含むことにより、性質の相違、反応性について 学習する。 ①と②と③の関連性、④との関連性について学習する。 芳香族化合物について、性質や反応性の相違を学習する。 また脂肪族化合物との相違についても学習する ① 芳香族炭化水素 ② フェノール類、芳香族カルボン酸 ③ 芳香族アミンとそれに付随する化合物 ④ 性質の相違を利用した分離方法を学習する。	
	3	第2節 タンパク質 第3節 合成高分子化合物	単糖、二糖、多糖の性質や用途を学習する。 タンパク質とそれを構成するアミノ酸の性質を学習す る。 合成繊維、合成樹脂、ゴムの用途や性質を学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	3	高校2学年11～14組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『生物 改訂版』(東京書籍)	『スクエア 最新図説生物』(第一学習社) 『セミナー 生物』(第一学習社)

1. 学習の目標

生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探究する方法や姿勢を身につける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探究する姿勢を身につけている。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をしている。	生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付け、結果から出した考えを的確に表現することができる。	生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1編 生命現象と物質 1章 生体物質と細胞	細胞の構造とはたらきについて学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	5	2章 タンパク質の構造と酵素 3章 細胞間の相互作用とタンパク質	タンパク質の構造や酵素としてはたらくタンパク質について学習する。 タンパク質のさまざまな働き(輸送・情報伝達・免疫・細胞接着)について学習する。	
	6	4章 代謝とエネルギー	エネルギー変化と化学反応, 呼吸・発酵と解糖・光合成・化学合成・窒素同化について学習する。	
	7	2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製	DNAの構造と複製について学習する。	
2	9	2章 遺伝情報の発現 3章 遺伝子の発現調節	遺伝情報の流れ・転写翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。 原核細胞と真核細胞の遺伝子発現調節・選択的遺伝子発現について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	10	4章 バイオテクノロジー	目的の遺伝子を増やす・遺伝子の情報を読む・遺伝子を細胞に導入する・バイオテクノロジーの進展と課題について学習する。	
	11	3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	有性生殖・染色体と遺伝子・減数分裂・減数分裂でもたらされる遺伝的多様性・遺伝子の連鎖と組み換え・遺伝現象との関連について学習する。 動物の配偶子形成・動物の受精について学習する。	

	12	1章 生物の有性生殖	ウニとカエルの発生について学習する。	
3	1	2章 動物の発生	動物の体軸とその決定・胚の細胞の発生運命と原腸形成について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	2	3章 動物の発生のしくみ	分化と誘導・動物に共通する形づくりのしくみ発生とゲノムについて学習する。	
	3	4章 植物の発生	被子植物の生殖と胚発生・被子植物の器官分化について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	4	高校2学年16組 (理系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『生物 改訂版』(東京書籍)	『スクエア 最新図説生物』(第一学習社) 『セミナー 生物』(第一学習社)

1. 学習の目標

生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会との関わりを考えるために必要な科学的素養を高める。多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探究する方法や姿勢を身につける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探究する姿勢を身につけている。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をしている。	生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付け、結果から出した考えを的確に表現することができる。	生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1編 生命現象と物質 1章 生体物質と細胞	細胞の構造とはたらきについて学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	5	2章 タンパク質の構造と酵素 3章 細胞間の相互作用とタンパク質	タンパク質の構造や酵素としてはたらくタンパク質について学習する。 タンパク質のさまざまな働き(輸送・情報伝達・免疫・細胞接着)について学習する。	
	6	4章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製	エネルギー変化と化学反応, 呼吸・発酵と解糖・光合成・化学合成・窒素同化について学習する。 DNAの構造と複製について学習する。	
	7	2章 遺伝情報の発現	遺伝情報の流れ・転写翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。	
2	9	3章 遺伝子の発現調節 4章 バイオテクノロジー 3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	原核細胞と真核細胞の遺伝子発現調節・選択的遺伝子発現について学習する。 目的の遺伝子を増やす・遺伝子の情報を読む・遺伝子を細胞に導入する・バイオテクノロジーの進展と課題について学習する。 有性生殖・染色体と遺伝子・減数分裂・減数分裂でもたらされる遺伝的多様性・遺伝子の連鎖と組み換え・遺伝現象との関連について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト

	10	2章 動物の発生	動物の配偶子形成・動物の受精, ウニとカエルの発生について学習する。	
	11	3章 動物の発生のしくみ	分化と誘導・動物に共通する形づくりのしくみ発生とゲノムについて学習する。	
	12	4章 植物の発生	被子植物の生殖と胚発生・被子植物の器官分化について学習する。	
3	1	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応	刺激の受容から反応への情報の流れ・ニューロンの興奮・伝導と伝達・受容器・中枢神経系での情報処理・効果器について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	2	2章 動物の行動	動物の行動について学習する。	
	3	3章 植物の環境応答	環境に応じた植物の一生と植物ホルモン・環境要因による成長等の調節・ストレスに対する応答について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	3	高校2学年17組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『生物 改訂版』(東京書籍)	『スクエア 最新図説生物』(第一学習社) 『セミナー 生物』(第一学習社)

1. 学習の目標

生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会との関わりを考えるために必要な科学的素養を高める。多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探究する方法や姿勢を身につける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探究する姿勢を身につけている。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をしている。	生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付け、結果から出した考えを的確に表現することができる。	生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1編 生命現象と物質 1章 生体物質と細胞	細胞の構造とはたらきについて学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	5	2章 タンパク質の構造と酵素 3章 細胞間の相互作用とタンパク質	タンパク質の構造や酵素としてはたらくタンパク質について学習する。 タンパク質のさまざまな働き(輸送・情報伝達・免疫・細胞接着)について学習する。	
	6	4章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製	エネルギー変化と化学反応, 呼吸・発酵と解糖・光合成・化学合成・窒素同化について学習する。 DNAの構造と複製について学習する。	
	7	2章 遺伝情報の発現	遺伝情報の流れ・転写翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。	
2	9	3章 遺伝子の発現調節 4章 バイオテクノロジー 3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	原核細胞と真核細胞の遺伝子発現調節・選択的遺伝子発現について学習する。 目的の遺伝子を増やす・遺伝子の情報を読む・遺伝子を細胞に導入する・バイオテクノロジーの進展と課題について学習する。 有性生殖・染色体と遺伝子・減数分裂・減数分裂でもたらされる遺伝的多様性・遺伝子の連鎖と組み換え・遺伝現象との関連について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト

	10	2章 動物の発生	動物の配偶子形成・動物の受精, ウニとカエルの発生について学習する。	
	11	3章 動物の発生のしくみ	分化と誘導・動物に共通する形づくりのしくみ発生とゲノムについて学習する。	
	12	4章 植物の発生	被子植物の生殖と胚発生・被子植物の器官分化について学習する。	
3	1	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応	刺激の受容から反応への情報の流れ・ニューロンの興奮・伝導と伝達・受容器・中枢神経系での情報処理・効果器について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	2	2章 動物の行動	動物の行動について学習する。	
	3	3章 植物の環境応答	環境に応じた植物の一生と植物ホルモン・環境要因による成長等の調節・ストレスに対する応答について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	体育	2	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『アクティブスポーツ2021(総合版)』(大修館書店)	『新版 健康手帳』(大修館書店)

1. 学習の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうようにする。また、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保しつつ、生涯にわたって豊かなスポーツライフが継続できる資質や能力を身につけられるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
各種目の特性に感心をもち、互いに協力しながら積極的に練習に取り組み、運動に親しむことができている。	自己の能力に応じた課題の解決を目指し、安全面に配慮し、練習の方法を工夫している。	各種目の特性に応じた基礎的技術を身につけ、自己の能力に応じ、向上させている。	各種目の特性や学び方、合理的な練習法、競技や審判の方法を理解し、実践している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○体づくり運動 ・ラジオ体操	ラジオ体操第一	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 小テスト
	5	○体づくり運動 ・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト	ラジオ体操第一 整列、方向転換、人員点呼、列の増減、行進等 50m走、持久走、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、握力、 長座体前屈、反復横跳び、上体起こし	
	6	○武道・ダンス(選択制) ・剣道 ・柔道 ・創作ダンス	礼法、足さばき、素振りの空間打突、竹刀で受ける打ち込み 基本打突、受け方、応用打突、引き技(応用)、応じ技等 受け身、手技、足技、腰技、約束練習等 創作ダンス作り、発表と鑑賞等	
	7	○体育理論 運動・スポーツの学び方 ①スポーツの技術と戦術	技術と技能 技術の型に応じた練習 戦術・作戦・戦略 技術の上達過程 効果的な練習方法 動きの開始と持続 動きのコントロール ※体育理論は天候等に応じ適宜実施	
2	9	○球技I(選択制) ・バドミントン ・サッカー ・ハンドボール	個人技能(サーブ、ストローク) 個人技能(パス、ドリブル、シュート) 個人技能(パス、ドリブル、シュート等)	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 小テスト

	10	○体づくり運動 (体育祭練習) ・マスゲーム ○体育理論 ②技能の上達過程と練習 ③効果的な動きのメカニズム	行進, 集団演技, 体育祭での発表 ※体育理論は天候等に応じ適宜実施 技術の上達過程 効果的な練習方法 動きの開始と持続 動きのコントロール	
	11	○球技Ⅰ(選択制) ・バドミントン ・サッカー ・ハンドボール	個人技能(ストローク等) 個人技能(パス, ドリブル, シュート) 個人技能(パス, ドリブル, シュート等)	
	12	○球技Ⅰ(選択制) ・バドミントン ・サッカー ・ハンドボール ○体育理論 ④技能と体力 ⑤体力トレーニング ⑥運動やスポーツでの安全確保	ダブルスのコンビネーション等・簡易ゲーム・試合等 個人技能(ドリブル, リフティング等) 集団技能(5対5), 簡易ゲーム, 試合等 集団技能(3対2, 3対3, オフェンス, ディフェンス等) 試合等 運動・スポーツにおける技能と体力の関係 練習とトレーニングの原理と原則 体力トレーニングを支える基礎理論 体力トレーニングの進め方 筋力トレーニング 持久力トレーニング 調整力・柔軟性のトレーニング 運動やスポーツによるけがの実態 運動やスポーツをおこなうときに注意すること ※体育理論は天候等に応じ適宜実施	
3	1	○陸上競技 ・長距離走	持久走(2~6Km程度), タイム計測 呼吸法, ペース走等	授業への取り組み マラソン大会結果 提出物 行動観察 実技試験
	2	○球技Ⅱ(選択制) ・ソフトテニス ・ソフトボール ・卓球	個人技能(ストローク, ボレー, サービス, スマッシュ等) 集団技能(シートバッティング, シートノック等) 個人技能(サービス, ストローク, スマッシュ等) ダブルスのコンビネーション, 簡易ゲーム, 試合等 個人技能(送球, 投球, 捕球, 打撃, 走塁等) シングルス, ダブルスのコンビネーション, 試合等	
	3	○球技Ⅱ(選択制) ・ソフトテニス ・ソフトボール ・卓球	個人技能(ストローク, ボレー, サービス, スマッシュ等) 集団技能(シートバッティング, シートノック等) 個人技能(サービス, ストローク, スマッシュ等) ダブルスのコンビネーション, 簡易ゲーム, 試合等 個人技能(送球, 投球, 捕球, 打撃, 走塁等) シングルス, ダブルスのコンビネーション, 試合等	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健	1	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『現代高等保健体育 改訂版』 (大修館書店)	なし

1. 学習の目標

「健康」はいかに自分らしく、よりよく充実した生活を送るための重要な土台となることや、健康を保持増進するために教育面、環境面の支援を組み合わせおこなうヘルスプロモーションが重要なことを理解する。また、実生活と照らし合わせながら学び、生涯を通じて、健康を自ら考え、適切に意志決定・行動選択ができるようにする。「一人一人がたった一回限りの貴重な人生を今生きている」ということを理解するとともに、自分や他人の生命や生活を心から尊重し、それぞれの幸せを協力して実現しようとする態度を身につけられるようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
健康・安全に関心を持つことができている。真摯な姿勢で授業にのぞみ、ノートを取り自らまとめる事ができている。	学習内容に対して常に疑問を持ち、日常生活に照らし合わせ自ら考え、取り組み方や実践方法を選択している。	積極的に質問や発言している。また自分やクラスメイトの意見を尊重して学習内容に向き合っている。	保健を身近な問題としてとらえ、正しい知識を身につけ、発言したり、記述したりしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	2 単元 生涯を通じる健康 ①思春期と健康 ②性意識と性行動の選択	思春期の体と健康 思春期の心と健康 性意識の変化と異性の尊重 性に関する情報と性行動	授業への取り組み 提出物 期末試験
	5	③結婚生活と健康 ④妊娠・出産と健康	心身の発達と結婚生活 結婚生活と家族の健康 受精・妊娠・出産 妊娠・出産期の健康のために	
	6	⑤家族計画と人工妊娠中絶 ⑥加齢と健康	家族計画の意義と避妊法 人工妊娠中絶 加齢にともなう心身の変化 中高年期を健やかに過ごすために	
	7	⑦高齢者のための社会的取り組み	高齢者の健康課題とその支援 すべての人が健康で安全に暮らすための取り組み	
2	9	⑧保健制度とその活用 ⑨医療制度とその活用	保健行政の役割と健康づくり 保健サービスの活用 医療制度と医療保険のしくみ 医療機関と医療サービスの活用	授業への取り組み 提出物 期末試験
	10	⑩医薬品と健康 ⑪さまざまな保健活動や対策	医薬品の種類と使い方 医薬品の安全性のための対策 健康づくりのための活動 民間機関の保健活動 国際機関の保健活動	
		3 単元 社会生活と健康 ①大気汚染と健康	大気汚染の原因と健康影響 大気にかかわる地球規模の問題	

	11	②水質汚濁・土壌汚染と健康 ③健康被害の防止と環境対策	水質汚濁とその健康影響 土壌汚染とその健康影響 大気汚染, 水質汚濁, 土壌汚染のかかわり 環境汚染の防止とその対策 産業廃棄物の処理と健康	
	12	④環境衛生活動のしくみと働き	ごみの処理 上下水道の整備とし尿の処理	
3	1	⑤食品衛生活動のしくみと働き ⑥食品と環境の保健と私たち	食品の安全性 行政や製造・加工者による衛生管理 食品の安全と私たちの役割 環境の保健と私たちの役割	授業への取り組み 提出物 学年末試験
	2	⑦働くことと健康 ⑧労働災害と健康	働くことと健康のかかわり 働き方と健康問題の変化 労働災害とその防止 安全管理と健康管理のしくみ	
	3	⑨健康的な職業生活	職場における取り組み 日常生活における取り組み	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	高校2年1組～14組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『LANDMARK English Communication II』(啓林館)	『LANDMARK English Communication II WORKBOOK Standard』(啓林館), 『LANDMARK English Communication II 予習ノート』(啓林館), 『Listening Laboratory Standard α』(数研出版), 『SKYWARD LAND Course』(桐原書店), 『英単語ターゲット1900』(旺文社)

1. 学習の目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる力を身に着ける。英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる力を身に着ける。聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする力を身に着ける。聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く力を身に着ける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現している。	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	LANDMARK	Lesson 1 I'm the Strongest!	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	5	LANDMARK Listening Laboratory SKYWARD LAND Course	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle Unit 1～4 Unit 1～4	
	6	LANDMARK	Lesson 3 Saint Bernard Dogs Lesson 4 Chanel's Style	
	7	Listening Laboratory SKYWARD LAND Course	Unit 5～8 Unit 5～8	
2	9	LANDMARK	Lesson 5 Science of Love Lesson 6 Gaudi and His Messenger	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	10	Listening Laboratory SKYWARD LAND Course	Unit 9～12 Unit 9～12	
	11	LANDMARK	Lesson 7 Letters from a Battlefield Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	
	12	Listening Laboratory SKYWARD LAND Course	Unit 12～16 Unit 12～16	
3	1	LANDMARK	Lesson 9 AI and Our Future	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	2		Lesson 10 Bhutan: A Happy Country	
	3	Listening Laboratory SKYWARD LAND Course	Unit 17～20 Unit 17～20	

※ターゲット英単語 1900 は朝学習や小テスト、休暇中の宿題等に使用する。

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2年15組～17組 (特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『LANDMARK English Communication II』(啓林館)	『LANDMARK English Communication II WORKBOOK Standard』(啓林館), 『LANDMARK English Communication II 予習ノート』(啓林館), 『Listening Laboratory Standard α』(数研出版), 『SKYWARD Ocean Course』(桐原書店), 『英単語ターゲット1900』(旺文社)

1. 学習の目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる力を身に着ける。英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる力を身に着ける。聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする力を身に着ける。聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く力を身に着ける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	日常的话题について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。	日常的话题について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現している。	日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	LANDMARK	Lesson 1 I'm the Strongest!	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	5	LANDMARK Listening Laboratory SKYWARD Ocean Course	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle Unit 1～4 Unit 1～4	
	6	LANDMARK	Lesson 3 Saint Bernard Dogs Lesson 4 Chanel's Style	
	7	Listening Laboratory SKYWARD Ocean Course	Unit 5～8 Unit 5～8	
2	9	LANDMARK	Lesson 5 Science of Love Lesson 6 Gaudi and His Messenger	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	10	Listening Laboratory SKYWARD Ocean Course	Unit 9～12 Unit 9～12	
	11	LANDMARK	Lesson 7 Letters from a Battlefield Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	
	12	Listening Laboratory SKYWARD Ocean Course	Unit 12～16 Unit 12～16	
3	1	LANDMARK	Lesson 9 AI and Our Future	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	2		Lesson 10 Bhutan: A Happy Country	
	3	Listening Laboratory SKYWARD Ocean Course	Unit 17～20 Unit 17～20	

※ターゲット英単語1900は朝学習や小テスト、休暇中の宿題等に使用する。

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語表現Ⅱ	3	高校2年1組～14組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『DUALSCOPE English Expression Ⅱ』(数研出版)	『総合英語 One Grammar Book Ⅱ』(アルク), 『総合英語 One Workbook』(アルク), 『3rd Edition 英文法・語法 Vintage』(いっずな書店), 『3rd Edition Vintage 文法編 準拠ドリル Navigator』 (いっずな書店), 『英文速読ドリル 10minutes Level 1』(Z会)

1. 学習の目標

英文法の基本の確認と発展的な問題への取り組みにより実践的な英語力を身に着ける。 使用頻度の高い構文を用いて、英語を表現する力を身に着ける。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力している。	異文化の考え方、表現の違いを正しく判断し、それに対して正しく反応している。	日常的话题について、で聞いた、読んだりして、相手が伝えようとする情報を理解し、発信している。	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	仮定法(2) 第1章～第2章	仮定法のその他の表現 基本的な時制、受動態の演習	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	第3章～第4章 速読ドリル1～4	助動詞の用法について演習 仮定法の基本と表現の演習	
	6	第5章 速読ドリル5～8	不定詞と動名詞の演習 不定詞と動名詞の違いに関する演習	
	7	第6章		
2	9	第7章～第8章	形容詞的用法と分詞構文の演習 関係詞の用法の演習	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	第9章～第10章 速読ドリル13～15	接続詞と前置詞の用法の演習	
	11	第11章 速読ドリル16～19	比較の用法と表現の演習 主語と述語動詞の一致の演習	
	12	第12章		
3	1	第13章～第14章	さまざまな疑問文の演習 否定語、準否定語の演習	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	第15章 速読ドリル22～25	語順(倒置)・省略・強調の演習 直接話法、間接話法の演習	
	3	第16章		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語表現Ⅱ	3	高校2年15組～17組 (特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『DUALSCOPE English Expression Ⅱ』(数研出版)	『3rd Edition 英文法・語法Vintage』(いっずな書店), 『3rd Edition Vintage 文法編準拠ドリルNavigator』 (いっずな書店), 『英文速読ドリル 10minutes Level 1』(Z会), 『Steady Steps to Writing』(数研出版)

1. 学習の目標

英文法の基本の確認と発展的な問題への取り組みにより実践的な英語力を身に着ける。 使用頻度の高い構文を用いて、英語を表現する力を身に着ける。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力している。	異文化の考え方、表現の違いを正しく判断し、それに対して正しく反応している。	日常的な話題について、で聞いた、読んだりして、相手が伝えようとする情報を理解し、発信している。	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章～第2章 英作文	基本的な時制, 受動態の演習 時制(1)～(3)	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	第3章～第4章 速読ドリル1～4 英作文	助動詞の用法について演習 仮定法の基本と表現の演習 助動詞(1)～(2)	
	6	第5章 速読ドリル5～8 英作文	不定詞と動名詞の演習 不定詞と動名詞の違いに関する演習 不定詞・動名詞(1)～(2)	
	7	第6章		
2	9	第7章～第8章 英作文	形容詞的用法と分詞構文の演習 関係詞の用法の演習 分詞、関係詞(1)～(2)	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	第9章～第10章 速読ドリル13～15 英作文	接続詞と前置詞の用法の演習 比較	
	11	第11章 速読ドリル16～19 英作文	比較の用法と表現の演習 主語と述語動詞の一致の演習 否定	
	12	第12章		
3	1	第13章～第14章 英作文	さまざまな疑問文の演習 否定語, 準否定語の演習 否定	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	第15章 速読ドリル22～25	語順(倒置)・省略・強調の演習 直接話法, 間接話法の演習	
	3	第16章		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
家庭	家庭基礎	2	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『家庭基礎 自立・共生・創造』(東京書籍)	なし

1. 学習の目標

家庭生活に必要な知識や技術を身につけ、生活の中の課題を発見し、解決するための意欲・実践的な態度を養うようにする。また、現在の自分を見つめ、自立について考えていくようにする。さらに、環境や社会・家庭経済について学び、共生及び持続可能な社会をつくることを目指すようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
家庭生活や社会・環境に関心を持ち、自立するための意欲・実践的な態度を育てている。	広い視野をもち、自ら課題を見つけ、解決するための考え方・判断力を養っている。	基本的な衣食住等の技能を身につけ、生活の質を高める生きる力を養っている。	生涯を通して健康や環境に配慮した生活を送れるよう生活の基本的な知識を身につけ、理解を深めている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	SDGSについて	SDGSについて学び、家庭基礎の授業を通して理解を深めていくようにする。	授業への取り組み 期末試験 実習作品 提出物 小テスト 出席状況
		自分らしい人生をつくる	現在の自分を見つめ、青年期の自立について考える。家族・家庭について学び、仕事とワークライフバランスなどについて理解を深める。18歳成人にむけて、知識・理解を深める。	
		衣生活をつくる	被服製作：基礎縫いを身につける。	
		衣生活をつくる	健康で快適に装うための衣生活の知識を身につける。 ※調理実習	
2	9	食生活をつくる	食生活をつくる。現代の食生活の課題を知り、栄養・食品・調理の基本的知識・技術を身につけ、食の自立をめざす。持続可能な食の営みという視点で、これからの食生活を考える。	授業への取り組み 期末試験 提出物 小テスト 出席状況
		子どもと共に育つ	子どもの育つ力を理解すると共に、親になった時、地域・社会の一員として、子どもとのかかわり方などを学び・考える。	
		高齢社会を生きる	高齢社会において、高齢者も私たちも共に生き、支えあう関係であることを学び・考える。 ※調理実習	
		高齢社会を生きる	高齢社会において、高齢者も私たちも共に生き、支えあう関係であることを学び・考える。	
3	1	住生活をつくる	住居の機能や間取りについて理解し、安全で快適な住生活を営むための知識を得る。	授業への取り組み 学年末試験 提出物 小テスト 出席状況
		経済生活を営む	家庭経済と消費生活について学び、自立への準備とする。 ※調理実習	

	3	経済生活を営む	家庭経済と消費生活について学び、自立への準備とする。	
--	---	---------	----------------------------	--

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

※ 調理実習はクラスが多いため、1～3学期に順次実施予定。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な探究の時間		1	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
なし	Classi「ポートフォリオ」機能

1. 学習の目標

<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>
--

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	校外学習	TGGでの学習(事前学習・事後振り返りを含む)	授業への取り組み ポートフォリオ入力
	5			
	6	日藤祭	クラスの催しやクラブ活動の発表・展示等を準備日も含め、3日間にかけて行う。(9時間)	
	7	水泳球技大会	本校プール・体育館等にて、中学・高校全体の水泳球技大会を行う。(4時間)	
2	9			授業への取り組み ポートフォリオ入力
	10	修学旅行	行先についての事前学習、現地での見学や講習参加等で研鑽をする修学旅行を行う。(13時間)	
	11	体育祭	本校NFグラウンドにて、中学・高校全体の体育祭を行う。(6時間)	
	12			
3	1	マラソン大会	「こどもの国」にてマラソン大会を行う。男子は6.4km、女子は4.0kmを走る。(3時間)	授業への取り組み ポートフォリオ入力
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。